女性300人
男性150人 に聞く

ヒップに関する男女の意識調査

昭和60年7月

株式会社ワコール

ヒップに関する男女の意識調査《目　次》

調査企画 1

調査結果の要約 3

調査結果の詳細【女性編】 7

Ⅰ ヒップの実態 7

1.現実体型・理想体型 7

2.からだの各部分には不満、特に「おなか」(69.3%) 12

3.ヒップの型は「ダウン型」(39.0%) 14

4.女性から「安産型」(27.7%)といわれ、男性からは「大きい」(23.3%) 15

Ⅱ ヒップについての関心 17

1.ヒップとは「女らしさを強調するもの」(40.0%) 17

2.男性の視線 18

3.ヒップのことが気になる「水着」(57.0%)、「パンツ」(49.3%) 20

4.自分のヒップを強調することが「ある」のは 8.0%のみ 21

Ⅲ ヒップの評価とケア 22

1.「まる」(82.3%)くて、「狭い」(74.3%)、「厚みのある」(65.0%)ヒップが好き 22

2.「下がっている」(37.0%)、「大きい」(35.7%)のが不満 24

3.ヒップのためにいいことは「ガードルの着用」(36.7%)くらい 25

4.ガードルの着用 26

5.自分のヒップを採点すると――平均「56.4 点」 29

6.女性のヒップが一番美しい「21.4 歳」 30

7.魅力的なヒップ――「浅野ゆう子」「松坂慶子」「由美かおる」 31

調査結果の詳細【男性編】 32

1.女性の後姿で一番気になる「ヒップ」(30.7%) 32

2.ヒップの観察 33

3.ヒップが気になる「水着」(46.0%)姿 35

4.〈からだにぴったり合った単衣の着物〉〈ハイレッグカットの水着〉の女性に感じる
セックスアピール 36

5.ヒップについての話題 38

6.女性のヒップとは「女らしさを強調するもの」(39.3%) 39

7.まるくて、厚みがあって、やわらかい、大きいヒップが好き 40

8.ヒップの形 41

9.日本女性のヒップは平均「64.5 点」 42

1O.「22.6 歳」がヒップの一番美しい年齢 43

11.熟年女優のヒップが魅力的 44

調　査　企　画

調査目的　女性の魅力やプロポーションに大きな影響力を持ちながら、本人にとって見にくいために、つい関心が薄くなりがちなヒップ。そのヒップについて現代女性はどんな意識を持ち、どのようにかかわっているかを探るとともに、男性の目に写った女性のヒップについて聞き、現代女性のヒップを立体的にとらえることを本調査の目的といたしました。

調査対象及びサンプル数　首都圏に居住する２０歳～４９歳の男女

女性　３００サンプル

男性　１５０サンプル

調査方法　留置法

調査実施期間　昭和６０年６月１１日～同６月１８日

対象者属性

＜女　性＞

		サンプル数	① 年齢 20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	② 職業 学生	常勤	アルバイト・パート・	家事手伝い・内職	主婦専業	③ 未既婚の別 未婚	既婚
全体		300 100.0	78 26.0	40 13.3	45 15.0	49 16.3	49 16.3	39 13.0	34 11.3	101 33.7	43 14.3	23 7.7	99 33.0	130 43.3	170 56.7
年齢	20～29歳	118 100.0	78 66.1	40 33.9	0 —	0 —	0 —	0 —	34 28.8	64 54.2	6 5.1	1 0.8	13 11.0	96 81.4	22 18.6
	30～39歳	94 100.0	0 —	0 —	45 47.9	49 52.1	0 —	0 —	0 —	19 20.2	15 16.0	13 13.8	47 50.0	17 18.1	77 81.9
	40～49歳	88 100.0	0 —	0 —	0 —	0 —	49 55.7	39 44.3	0 —	18 20.5	22 25.0	9 10.2	39 44.3	17 19.3	71 80.7

		④子供の有無			⑤ ヒップの大きさ					⑥ ガードルのサイズ				
		サンプル数	あり	なし	サンプル数	大きい方	ふつう	小さい方	無回答	58	64	70	その他	無回答
全体		170 100.0	147 86.5	23 13.5	300 100.0	137 45.7	124 41.3	31 10.3	8 2.7	50 16.7	128 42.7	51 17.0	8 2.7	63 21.0
年齢	20～29歳	22 100.0	17 77.3	5 22.7	118 100.0	62 52.5	40 33.9	13 11.0	3 2.5	31 26.3	46 39.0	2 1.7	4 3.4	35 29.7
	30～39歳	77 100.0	66 85.7	11 14.3	94 100.0	41 43.6	37 39.4	14 14.9	2 2.1	11 11.7	36 38.3	31 33.0	3 3.2	13 13.8
	40～49歳	71 100.0	64 90.1	7 9.9	88 100.0	34 38.6	47 53.4	4 4.5	3 3.4	8 9.1	46 52.3	18 20.5	1 1.1	15 17.0

＜男　性＞

		① 年齢							② 職業				③未既婚の別	
		サンプル数	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	学生	勤め人（サラリーマン）	商工自営	自由業	未婚	既婚
全体		150 100.0	34 22.7	27 18.0	23 15.3	20 13.3	24 16.0	22 14.7	25 16.7	106 70.7	12 8.0	7 4.7	61 40.7	89 5.9.3
年齢	20～29歳	61 100.0	34 55.7	27 44.3	0 —	0 —	0 —	0 —	25 41.0	34 55.7	0 —	2 3.3	51 83.6	10 16.4
	30～39歳	43 100.0	0 —	0 —	23 53.5	20 46.5	0 —	0 —	0 —	35 81.4	4 9.3	4 9.3	8 18.6	35 81.4
	40～49歳	46 100.0	0 —	0 —	0 —	0 —	24 52.2	22 47.8	0 —	37 80.4	8 17.4	1 2.2	2 4.3	44 95.7

		④恋人の有無		
		サンプル数	いる	いない
全体		150 100.0	41 27.3	109 72.7
年齢	20～29歳	61 100.0	29 47.5	32 52.5
	30～39歳	43 100.0	9 20.9	30 79.1
	40～49歳	46 100.0	3 6.5	43 93.5

調査結果の要約

Ⅰ ヒップの実態

○対象者自身のからだのサイズと理想のサイズの平均は以下の通り。

	現実	理想
身長	156.9 cm	160.1 cm
体重	50.6 kg	48.3 kg
バスト	83.2 cm	84.4 cm
ウエスト	63.1 cm	59.9 cm
ヒップ	88.1 cm	86.4 cm

つまり望むなら、もっと細っそりと、しかしバストは豊かで、下半身デブを解消したいということになる。

○バスト、ウエスト、ヒップ、おなか、太もも、脚に対する満足度は低く、いずれも「不満」「やや不満」が半数をこえている。中でも「おなか」（合わせて69.3％）、「ウエスト」（同65.7％）に不満を持つ女性は多い。

○ヒップの形のタイプ別割合を見ると以下の通り。

	対象者（女性）本人	男性から見た最も親しい女性のヒップ	男性の好きな形
扁平型	13.3％	6.7％	6.7％
ダウン型	39.0％	34.0％	6.0％
標準型	28.3％	28.7％	42.7％
アップ型	4.0％	8.7％	37.3％
出尻型	13.0％	10.0％	6.7％
わからない	—	11.3％	—

女性本人も、男性の最も親しい女性も、現実は＜ダウン型＞のヒップが最も多い。ただ、女性本人に見る割合より男性の親しい女性は、＜扁平型＞＜出尻型＞が少なく、＜アップ型＞が若干多くなっている。好きなのはやはり＜標準型＞＜アップ型＞だが、現実と好みが一致している男性は少ない。

○女性がヒップについていわれることは、＜女性から＞は、「安産型」（27.7％）

「大きい」（２3.7％）、「小さい」（１1.0％）、「ずん胴」（9.0％）など。＜男性から＞だと「大きい」（２3.3％）、「安産型」（２2.0％）、「健康的」（7.3％）。「わからない」も４1.7％。

Ⅱ　ヒップについての関心

○女性にとってヒップとは、第一に「女らしさを強調するもの」（４0.0％）であり、次いでは「母性の象徴」（３1.7％）。

男性から見ると、女性のヒップとは、第一がやはり「女らしさを強調するもの」（３9.3％）。しかし２位は「プロポーションの基本」（３4.7％）で、「セックスアピールを強調するもの」（２7.3％）も、女性の意識（13.3％）に比べて高く、観賞するものという意識が高い。

○男性が女性の後姿で一番気になるのは何といっても「ヒップ」（３0.7％）。続く「脚」（１6.0％）、「髪」（１4.7％）などとの差は大きい。

○男性の１9.3％は女性のヒップを「よく観察する方」であり、「まあ観察する方」（３9.3％）を合わせると、６割近くになる。

女性で、男性のヒップへの視線を感じたことが「ある」のは３8.0％。“20～29歳”（５3.4％）は半数強だが３０代以上は低い。

○女性は「階段をのぼっている時」（５0.9％）や「海やプールで水着の時」（38.6％）にヒップへの男性の視線を感じると答えているが、男性自身は「街を歩いている時」（６8.2％）に観察するという人が最も多い。「海やプールで水着の時」は４8.9％、「階段をのぼっている時」が４2.0％。

女性は「街を歩いている時」（１5.8％）はあまり気付かないようだが、思っているより見られているのでご用心。

○視線を感じた時の女性の気持ちは「恥ずかしい」（４5.6％）、「落ちつかない」（３0.7％）、「いやらしい」（２8.1％）、「下着の線が気になる」（２8.1％）など。

○ヒップのことが気になる服装は、

女性の場合……「水着」（５7.0％）、「パンツ」（４9.3％）、「タイトスカート」（４7.3％）、「ジーンズ」（４2.3％）。

男性から見ると……「水着」（46.0%）、「タイトスカート」（40.7%）、「ジーンズ」（34.7%）、「ミニスカート」（29.3%）。

男性は脚が見えるとより気になるようで、「ミニスカート」については女性（7.7%）との差が大きい。

○男性がセックスアピールを「大いに・まあ感じる」のは、<からだにぴったり合った単衣の着物を着ている女性>（合わせて76.7%）と、<ハイレッグカットの水着を着ている女性>（同73.4%）。<階段などでヒップをかくしてのぼっている女性>には「全く・あまり感じない」（同81.3%）。<洋服に下着のヒップラインが現われている女性><テニスウェアやゴルフウェアで活動している女性>には、セックスアピールを感じる・感じないが半々に分れる。

○自分のヒップを強調することが「ある」女性は 8.0% と少ない。強調する方法は「ジーンズ」「タイトスカート」「パンツ」などの「服装」や「歩き方」で。

○まわりの女性のヒップについて、知人や友人などと話題にすることが、「よくある」男性は 6.7%、「時々ある」（32.7%）を合わせるとほぼ4割。

話題は、「形」（66.1%）、「大きさ」（59.3%）そして「セクシー度」（40.7%）などについて。

Ⅲ ヒップの評価とケア

○好きなヒップを女性自身と男性で比較してみると……

	女性	男性
大きさ	小さい方 57.7%	大きい方 61.3%
かたさ	やわらかい方 54.0%	やわらかい方 70.7%
横巾	狭い方 74.3%	狭い方 56.0%
前後の厚み	厚みのある方 65.0%	厚みのある方 72.7%
ヒップライン	まるい方 82.3%	まるい方 88.0%

となり、男性は、より豊かなヒップを好み、女性は小さくまとまった可愛いヒップが好みのよう。

○女性が自分のヒップに対して持っている不満は、「下がっている」（37.0%）、大きい」（35.7%）、「横巾が広い」（23.0%）、「出尻である」（13.7%）など。「特にない」は19.7%で、8割強はヒップに何らかの不満を持っている。

○ところが、ヒップのために何かいいことをしているかというと、「ガードルの着

用」（36.7％）くらいで、あとは「美容体操」（7.7％）、「テニス」（6.0％）、などいずれも10％未満。「特にしていない」（51.7％）が過半数をしめる。

○ガードルの着用については、「外出する時に着けている」人が33.0％、「家にいる時も外出する時も着けている」が23.7％で、日常的に着用している人は6割弱。「服装によっては着けている」が13.3％、「あまり着けない」16.7％、「着用したことがない」人は13.3％。

○ガードルを着けはじめた年齢は、「18歳」（26.5％）、「20歳」（20.0％）が多いが、17歳までにすでに35.0％が着用しはじめている。

平均は“全体”が「18.2歳」。若い人ほど早めで“20～29歳”は「16.7歳」。

○ガードル着用のきっかけは「おなかが気になったから」（34.6％）、「ヒップの形が気になったから」（28.5％）、「友だちが着けていたから」（25.0％）など。

17歳以前に着けはじめた人は「友だちが着けていたから」（36.3％）が第一。

○ヒップを採点すると、女性の自己採点は「50～59点未満」（24.7％）が最も多く、平均は「56.4点」。若い人ほど厳しい採点で、“20～29歳”は「52.5点」。

男性が日本女性のヒップを採点した場合は、「70～79点」（28.0％）が中心で、平均は「64.5点」。女性自身よりも高く評価している。“30～39歳”はちょっと厳しく、「62.5点」。

○女性のヒップが一番美しいと思う年令は、女性では「20歳」（36.7％）に集中しており、平均「21.4歳」。男性から見ると、「20歳」（22.7％）、「25歳」（14.0％）、「18歳」（10.7％）などに分散し、「30歳以上」も10.7％。平均は「22.6歳」で、女性に比べ、成熟したヒップを美しいと感じる傾向がうかがえる。

○魅力的なヒップの持ち主、ベスト3は男女とも変わらない。

	女　性	男　性
1	浅　野　ゆう子（27名）	由　美　かおる（11名）
2	松　坂　慶　子（20名）	浅　野　ゆう子（10名）
2	由　美　かおる（20名）	松　坂　慶　子（10名）

しかし、男性は、どちらかというと熟年女優のヒップを魅力的と感じるらしく、「吉永小百合」「十朱幸代」「倍賞美津子」「大原麗子」もベスト10に顔を出している。

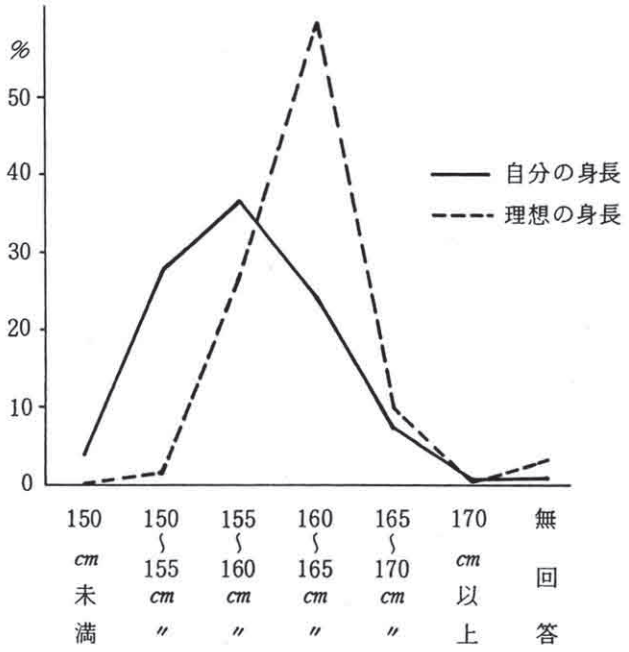
調査結果の内容【女性編】

Ⅰ　ヒップの実態

1　現実体型・理想体型

対象者自身のからだのサイズと理想としているサイズを見ていきたい。

＜図－１＞　身長の現実と理想



(1)　身長

本人の身長は「１５５～１６０cm未満」（３６.３%）を中心に、「１５０～１５５cm未満」（２７.７%）、「１６０～１６５cm未満」（２４.０%）の１５cmの間に９割以上が集まっている。

平均は“全体”が「１５６.９cm」、“２０～２９歳”（１５８.４cm）と“３０～３９歳”（１５５.７cm）では、３cm近い差がある。

また、職業別の“学生”（１５９.２cm）の平均は１６０cmに手が届こうとしている。

理想の身長の方は６割が「１６０～１６５cm未満」（５９.７%）と答え、次いでは、「１５５～１６０cm未満」の２６.３%。

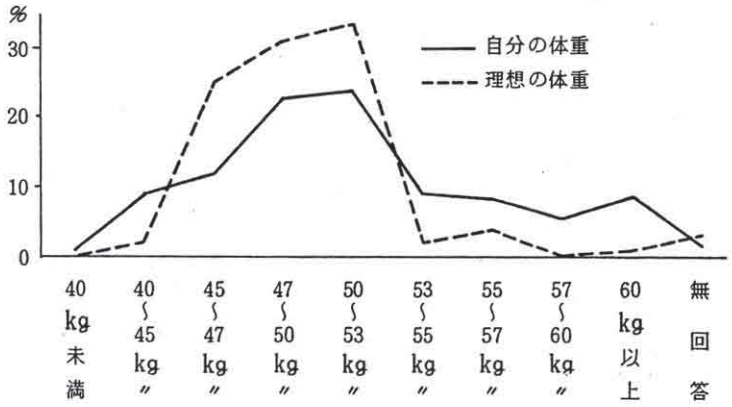
平均は“全体”が「１６０.１cm」、年齢別による違いも、職業別による違いもあまりない。“２０～２９歳”は現実と理想の差が２cmだが、３０歳以上は４cmの開きが見られる。

＜表－１＞　身長・体重の平均

		平均身長		平均体重	
		自分のサイズ	理想のサイズ	自分のサイズ	理想のサイズ
全体		156.9 cm	160.1 cm	50.6 kg	48.3 kg
年齢	20～29歳	158.4 〃	160.4 〃	49.8 〃	47.7 〃
	30～39歳	155.7 〃	159.8 〃	51.5 〃	48.7 〃
	40～40歳	156.1 〃	160.1 〃	50.9 〃	48.6 〃

(2) 体重

＜図－２＞ 体重の現実と理想



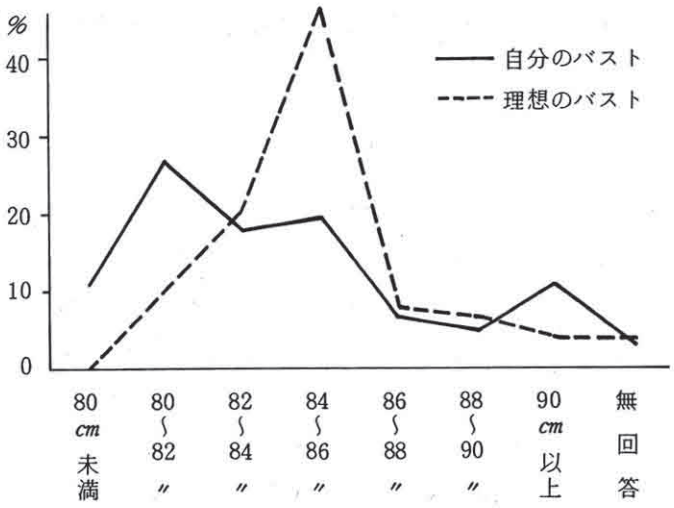
現在の体重は、「５０～５３kg未満」（２３.７％）、「４７～５０kg未満」（２３.０％）の５０kg前後が中心になっている。「６０kg以上」は８.３％。

平均は、「５０.６kg」で年齢による違いはあまりない。職業別では“主婦専業”がこころもち重く「５１.８kg」。なお、ヒップが“大きい方”（５２.９kg）という人と“小さい方”（４４.８kg）の体重にはかなりの差がある。

理想とする体重は、「５０～５３kg未満」（３３.０％）、「４７～５０kg」（３１.０％）により集中し、現在３１.３％をしめる５３kg以上クラスも、ここでは６.０％のみである。

平均は「４８.３kg」で現実より２kg弱少なめ。“２０～２９歳”（４７.７kg）と３０歳以上とでは１kgの差がある。職業別の“学生”は、より軽く「４７.２kg」。また、ヒップが“大きい方”の人は「４９.０kg」で、“小さい方”は「４６.５kg」。

＜図－３＞ バストの現実と理想



(3) バスト

バストは「８０～８２cm未満」（２７.０％）の人が最も多く、そのサイズから「８４～８６cm未満」（１９.３％）までが“全体”の⅔近くをしめる。「９０cm以上」も１０.７％。

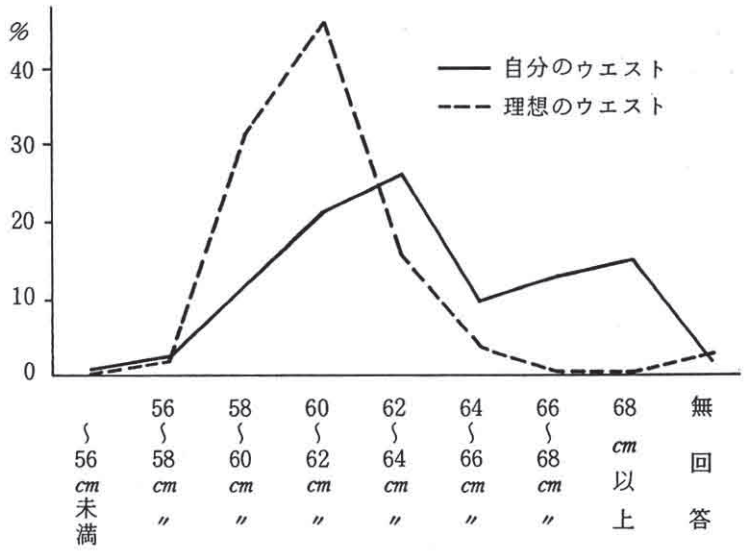
平均は「８３.２cm」、“２０～２９歳”（８２.３cm）と“３０～３９歳”（８３.８cm）は１.５cmの差。

職業別では“主婦専業”（８４.2cm）が最も豊かである。なお、ヒップが“大きい方”の人はバスト（８４.6cm）も豊かで、“小さい方”（７９.2cm）の人とはかなりの差がある。

理想のバストサイズは「８４～８６cm未満」（４６.7％）に集中し、次いでは「８２～８４cm未満」２０.７％、「９０cm以上」を望む人は、4.０％に止まる。

平均は、“全体”が「８４.4cm」、年齢別では“３０～３９歳”（８５.1cm）が最も豊かだが、現実との差は、２０代と変わらない。職業別では“パート・家業手伝い”（８５.2cm）がより豊か。ヒップが“小さい方”という人は、バストも４cmアップの「８３.１cm」を理想としている。

＜図－４＞　ウエストの現実と理想



(4)　ウエスト

現在のウエストサイズは、「６２～６４cm未満」（２６.0％）、「６０～６２cm未満」（２１.0％）、が中心で、５０cm台は１４.６％、「６８cm以上」も１４.３％。

平均は、「６３.１cm」。但し、ここでは実測というより、スカートなどの表示をウエストサイズと解釈している可能性がある。

“２０～２９歳”（６１.0cm）と３０歳以上では３cm強の差がある。

職業別で“主婦専業”は「６４.9cm」。ヒップが“小さい方”の人はウエスト（59.4cm）も細い。

理想のウエストになると、「６０～６２cm未満」（４５.7％）、「５８～６０cm未満」（３１.0％）と現実より２cm細めに移行する。しかも６４cm以上という人はごく少ない（４.０％）ので、平均は「５９.9cm」と現実に比べ３cm強細い。

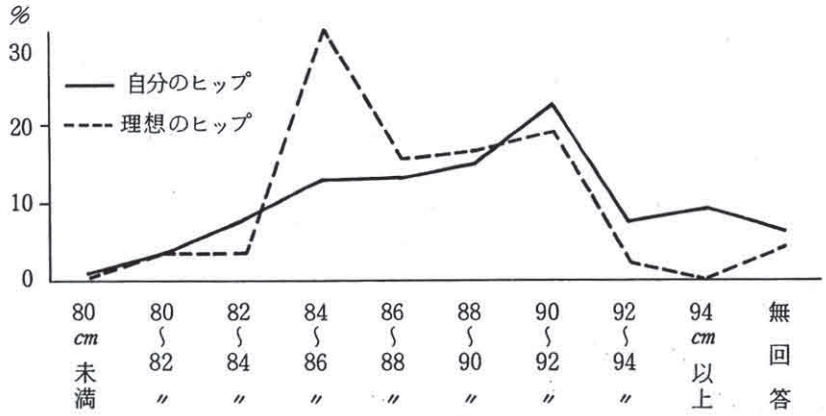
“２０～２９歳”（５９.0cm）は３０歳以上の平均より１.５cm細い。“学生”は「５８.7cm」。

＜表－２＞　バスト・ウエスト・ヒップサイズの平均

		平均バストサイズ		平均ウエストサイズ		平均ヒップサイズ	
		自分のサイズ	理想のサイズ	自分のサイズ	理想のサイズ	自分のサイズ	理想のサイズ
全　体		83.2 cm	84.4 cm	63.1 cm	59.9 cm	88.1 cm	86.4 cm
年齢	20～29歳	82.3 〃	83.6 〃	61.0 〃	59.0 〃	87.4 〃	86.0 〃
	30～39歳	83.8 〃	85.1 〃	64.3 〃	60.5 〃	88.6 〃	87.0 〃
	40～49歳	83.6 〃	84.7 〃	64.6 〃	60.5 〃	88.5 〃	86.2 〃

(5)　**ヒップ**

＜図－５＞　ヒップの現実と理想



現在のヒップサイズは、「９０～９２cm未満」（２２.７％）が最も多いが、年齢による違いが大きく、“２０～２９歳”は「８４～８６cm未満」（１９.５％）がピーク。“３０～３９歳”は「９０～９２cm未満」（３０.９％）に集中している。

平均は「８８.１cm」、“２０～２９歳”（８７.４cm）と３０歳以上には１cm強の差がある。ヒップの“大きい方”の人の平均は「９０.３cm」、“小さい方”は「８３.０cm」。

理想のヒップサイズは「８４～８６cm未満」（３２.３％）が中心。但し、それに次いで「９０～９２cm未満」（１９.７％）が多い。

平均は「８６.４cm」、年齢別による差も現実の場合と同じく１cmほど。

ヒップが“大きい方”（８６.６cm）と“ふつう”（８６.５cm）の人の理想サイズはほぼ同じ、“小さい方”（８５.０cm）の人もそれほど変わらない。“大きい方”の人は実際より４cm近く、“ふつう”も幾分細いのが理想と考えているが、“小さい方”はむしろ２cm豊かな方がよいと考えている。

以上をまとめてみると

身長は現実より３～４cm高く、

体重は２kgほど軽く、

バストは１cm強豊かに、

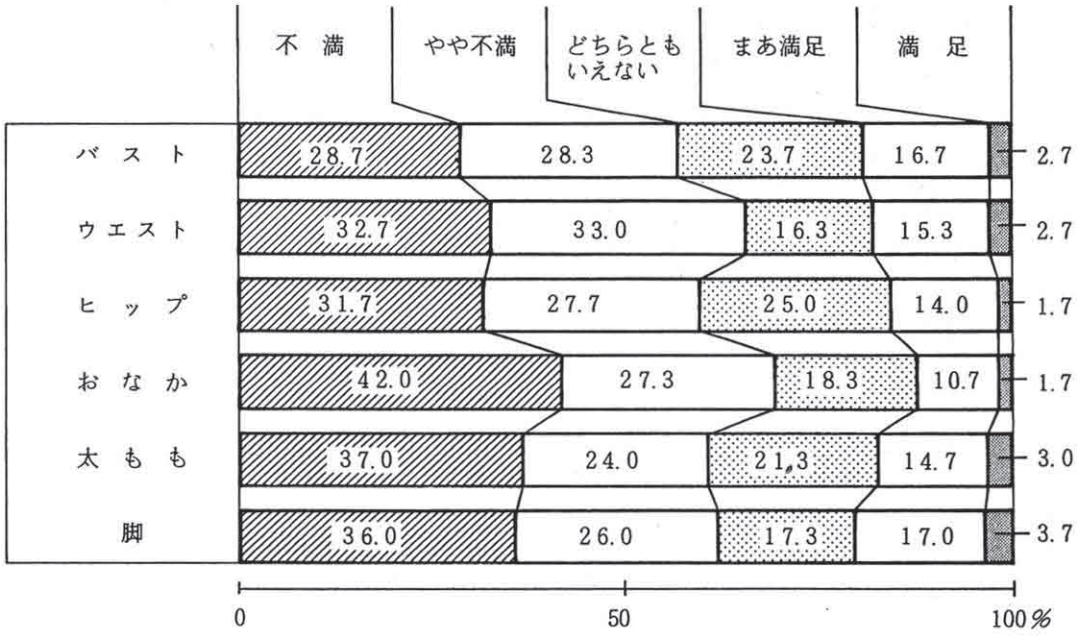
ウエストは3cm強細く、

ヒップは２cm近く細めに　　と、

からだをスリムにすることを望んでいるようである。

2. からだの各部分には不満、特に「おなか」（69.3％）

＜図－6＞　からだ各部分の満足度



現実と理想のボディサイズの差はごくわずかのようだが、それでも満足感には大いに影響するようである。

からだの各部分についての満足度を見ると、まず

バストについては、「満足」は2.7％のみ、「まあ満足」（16.7％）を合わせても2割に満たない。「不満」が28.7％、「やや不満」もほぼ同じ28.3％。両者を合わせて6割近くが不満組である。

年齢別に見ても傾向は同じで、年齢が上になるほど不満組がより多くなる。職業別ででは“常勤”に「不満」（34.7％）、「やや不満」（27.7％）がより多い。“学生”は「まあ満足」（23.5％）も少なくない。

ウエストは、バスト以上に不満組が多く、「不満」（32.7％）、「やや不満」（33.0％）合わせて⅔をしめる。「満足」は2.7％、「まあ満足」が15.3％。

“30～39歳”“40～49歳”は「不満」「やや不満」が7割をこえる。“20～29歳”のうちは不満組が55.1％で、「まあ満足」（21.2％）、「満足」（5.1％）が¼強。

なお、ヒップが“大きい方”という人はウエストに不満を持つ人が多く、「不満」

（43.8％）、「やや不満」（32.8％）合わせて¾強。“小さい方”（同41.9％）とかなりの差がある。

ヒップに「不満」（31.7％）、「やや不満」（27.7％）が6割弱、「まあ満足」（14.0％）、「満足」（1.7％）の人は、バスト・ウエストの場合より少ない。

ここでは、若い人ほど不満組が多く、“20～29歳”は合わせて64.4％、“40～49歳”が53.4％である。

ヒップが“大きい方”の人では「不満」（43.1％）、「やや不満」（32.1％）が¾をしめる。“ふつう”は合わせて45.1％、“小さい方”は同46.4％。

おなかは最も不満を持つ人が多い部分である。「不満」が42.0％、「やや不満」（27.3％）を合わせると7割近い。「満足」は1.7％、「まあ満足」も10.7％とごく少ない。

年齢によって不満組の割合はあまり変わらないが、“20～29歳”には、「まあ満足」（15.3％）、「満足」（1.7％）が他年齢層より幾分多く見られる。

また、ヒップが“大きい方”の人は「不満」（56.2％）、「やや不満」（27.7％）が合わせて83.9％、“小さい方”（同45.2％）とかなりの差がある。

太ももについても、「不満」（37.0％）、「やや不満」（24.0％）が6割をこえるが、＜おなか＞＜ウエスト＞に比べれば低い。「満足」が3.0％、「まあ満足」14.7％。

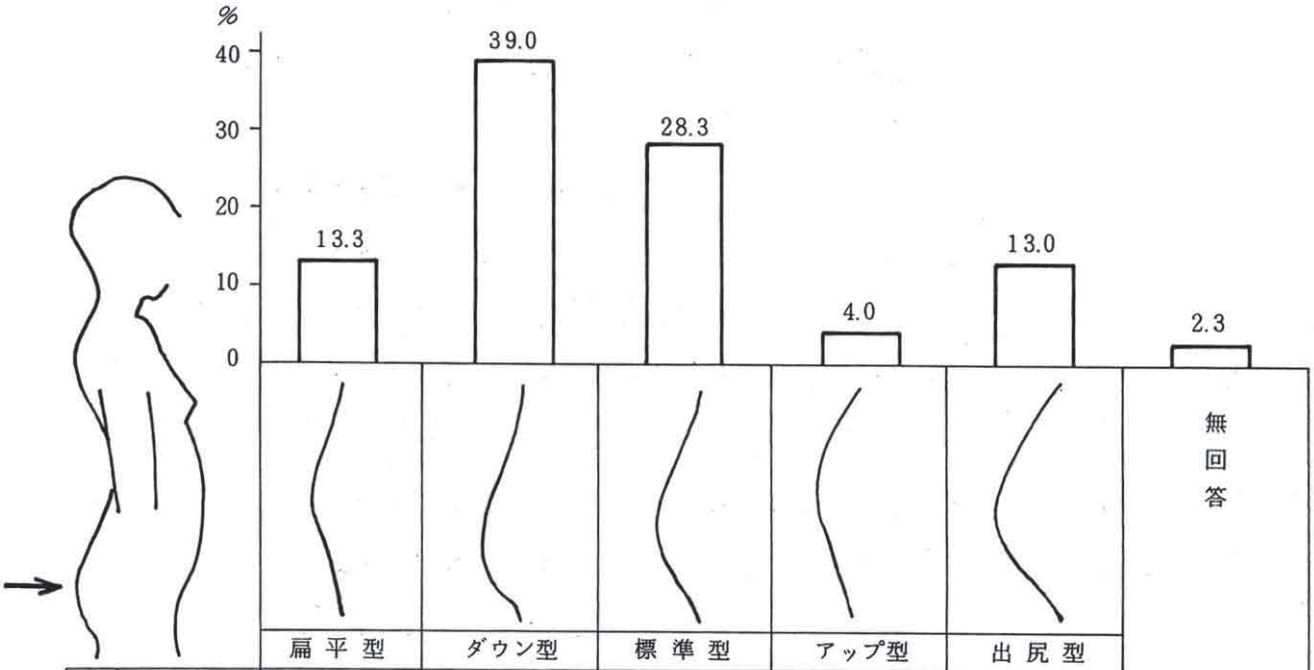
ここでは“20～29歳”に「不満」（50.8％）がかなり多い。日頃テニスウエアなど太ももを意識しやすい服装が多いからだろうか。“学生”も「不満」（55.9％）が目立つ。ヒップが“大きい方”の人も「不満」が51.1％。

脚では、「不満」が36.0％、「やや不満」26.0％で、＜太もも＞とほぼ同じである。やはり“20～29歳”に「不満」（45.8％）が多く見られ、職業別の“学生”（52.9％）にも多い。ヒップが“大きい方”は「不満」が48.2％。

＜バスト＞以外については、ヒップの“小さい方”が不満は少ないようである。

3. ヒップの型は「ダウン型」（39.0％）

＜図－7＞　対象者のヒップの形



		扁平型	ダウン型	標準型	アップ型	出尻型	
年齢	20～29歳	9.3	38.1	37.3	2.5	10.2	2.5
	30～39歳	18.1	40.4	23.4	4.3	12.8	1.1
	40～49歳	13.6	38.6	21.6	5.7	17.0	3.4

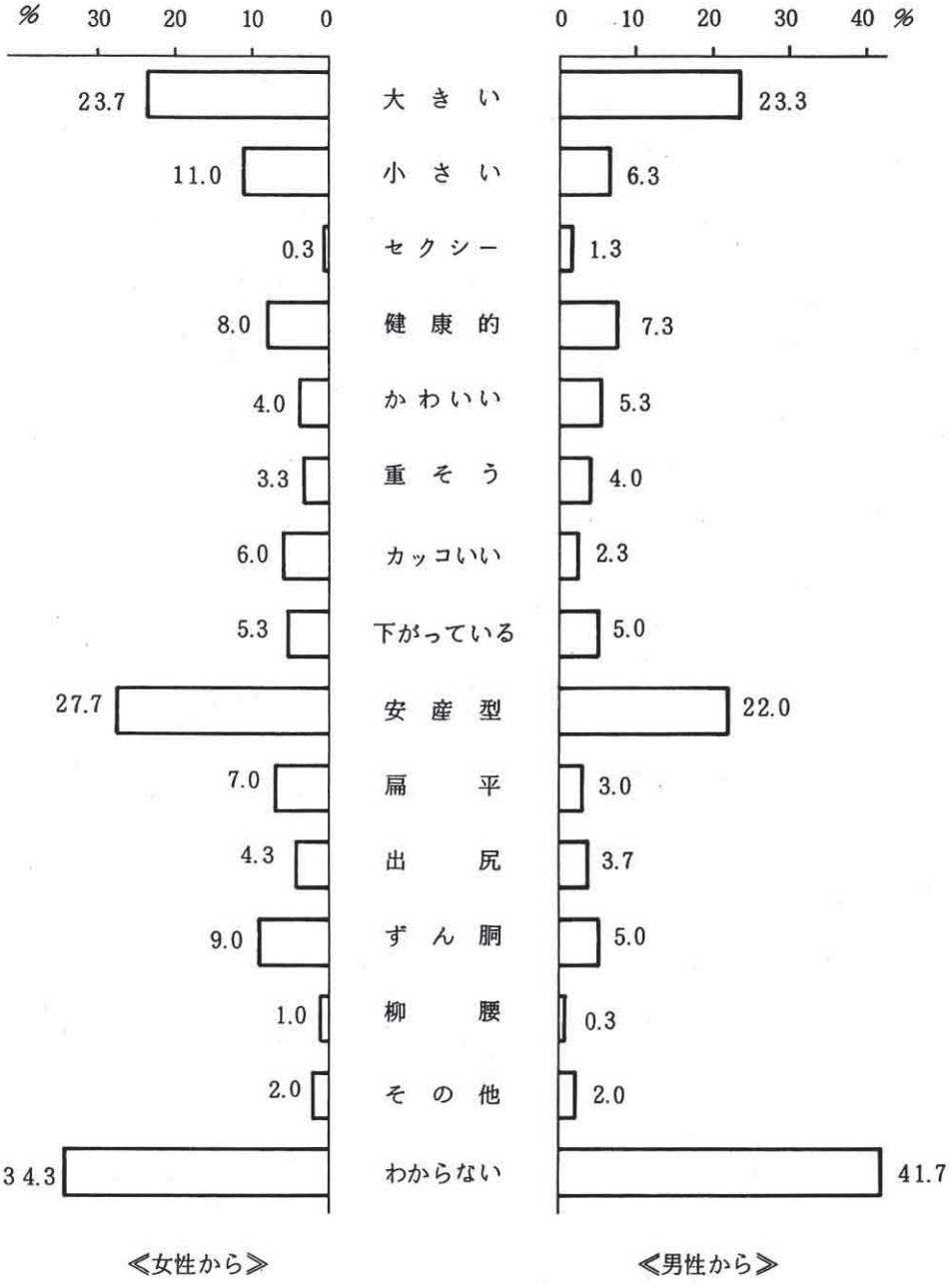
対象者本人のヒップの型はどのタイプか、呼称は表示しないでイラストで選んでもらった。最も多いのは「ダウン型」（39.0％）で“全体”の4割をしめる。続く「標準型」（28.3％）は3割弱。「扁平型」（13.3％）と「出尻型」（13.0％）は同程度、「アップ型」（4.0％）はごく少ない。

年齢別に見るといずれも「ダウン型」がトップだが、“20～29歳”には「標準型」（37.3％）が同程度見られる。年齢が上がるにつれて、「標準型」は少なくなり、「出尻型」や「アップ型」がやや増える。“30～39歳”は「扁平型」（18.1％）も多い。

ヒップの“大きい方”の人は「ダウン型」（48.9％）が殊に多く、「出尻型」（20.4％）も目立つ。“ふつう”は「ダウン型」（34.7％）と「標準型」（31.5％）。また、「アップ型」（8.9％）はこのグループのみである。“小さい方”の人では「扁平型」（54.8％）が過半数をしめる。

4. 女性から「安産型」(27.7%)といわれ、男性からは「大きい」(23.3%)

<図－8> ヒップについていわれること



ヒップについてまわりの人から何といわれているのか、まず<女性から>いわれていることを見ると、「安産型」が最も多く27.7%、次いで「大きい」の23.7%。あとはかなり低くなり、「小さい」(11.0%)、「ずん胴」(9.0%)、「健康的」(8.0%)など。何といわれているのか「わからない」(34.3%)人が3人に1人。

年齢別に見ると、若い層ほど「大きい」「小さい」「カッコいい」「扁平」「かわいい」

などが幾分高い。年齢が上になると「わからない」が多くなるが、女性同士互いのヒップを批評しあうことなど少なくなるのかもしれない。ただ、“４０～４９歳”は「安産型」（３3.0％）がより高い。

ヒップの“大きい方”の人は「大きい」（４8.2％）か「安産型」（４2.3％）、“小さい方”だと「小さい」（８0.6％）か「かわいい」（１9.4％）、“ふつう”は「わからない」（５3.2％）が過半数をしめており、ヒップに対する批評の語彙は豊かとはいえないようだ。

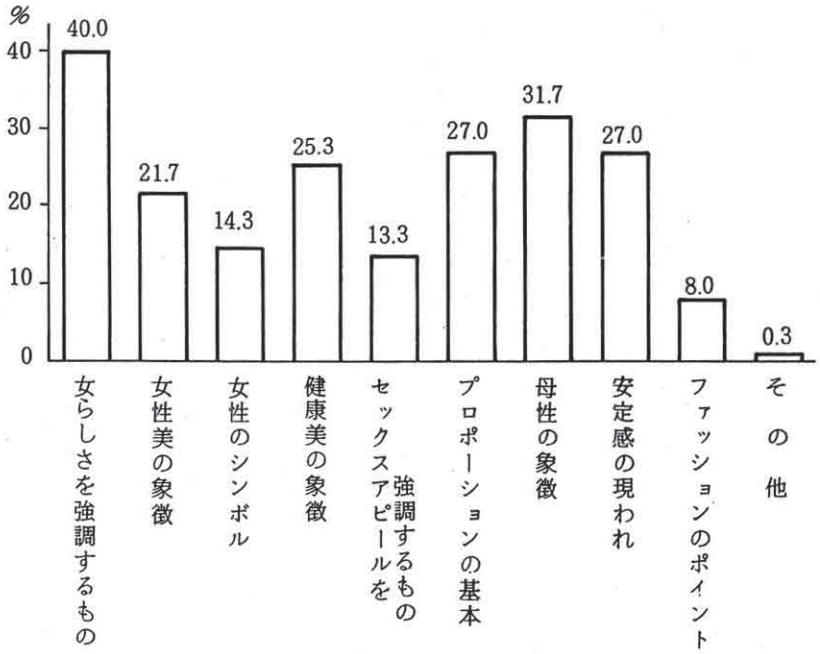
＜男性から＞いわれるのは、やはり「大きい」（２3.3％）、「安産型」（２2.0％）が主で他の言葉は少なく、「わからない」が４1.7％をしめる。中で＜女性から＞よりも幾分でも高率なのは、「かわいい」（5.3％）、「重そう」（4.0％）、「セクシー」（1.3％）である。

年齢別に見ると、“２０～２９歳”は「大きい」（３2.2％）がより高く、「安産型」（２6.3％）、「かわいい」（１1.9％）、「小さい」（9.３％）なども他年齢層より高め。“３０～３９歳”は「ずん胴」（8.５％）、「扁平」（5.３％）がやや目立つ。“４０～４９歳”は「健康的」（9.１％）、「下がっている」（6.８％）が他年齢層に比べて高い。年齢が上になると「わからない」がより多くなるが、言われてるとしても好意的な言葉はかなり少なくなるようだ。

Ⅱ　ヒップについての関心

1. ヒップとは「女らしさを強調するもの」（40.0%）

＜図－9＞　女性にとってヒップとは…



「ヒップ」とは女性にとって何なのか、女性自身の考え方にあてはまるものをいくつでも選んでもらったところ、最も高率なのは「女らしさを強調するもの」（40.0%）、次いで「母性の象徴」（31.7%）という結果になった。以下に少差で「プロポーションの基本」（27.0%）、「安定感の現われ」（27.0%）、「健康美の象徴」（25.3%）が続く。

年齢別で、“20～29歳”“30～39歳”は「女らしさを強調するもの」が第一だが、“40～49歳”では「母性の象徴」（38.6%）、「健康美の象徴」（33.0%）の方が高い。

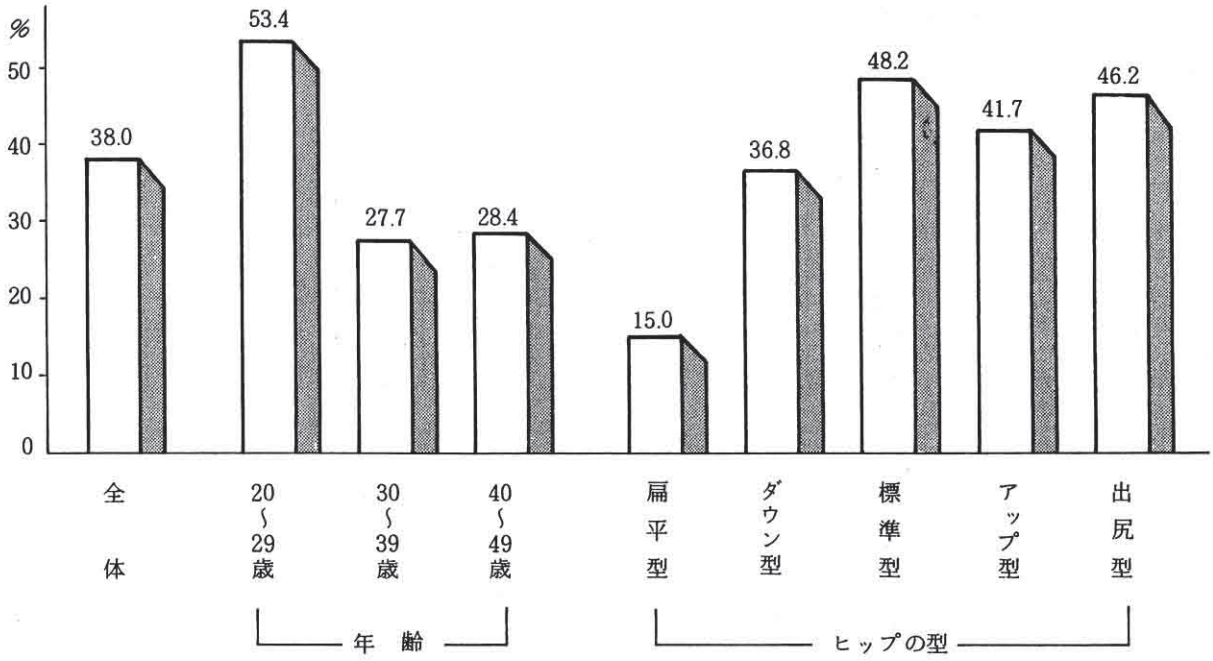
また職業別の“学生”と“常勤”は、「女らしさを強調するもの」に次いで「プロポーションの基本」が高いが、“パート・家業手伝い”“主婦専業”では「母性の象徴」が第一で、「プロポーションの基本」は低い。

なお、ヒップが小さめの人ほど、「女らしさを強調するもの」「プロポーションの基本」が高率。“大きい方”は「安定感の現われ」（33.6%）がやや高く、“ふつう”は「セックスアピールを強調するもの」（21.8%）が他グループに比べて高い。

2. 男性の視線

(1) 38.0%はヒップへの視線を感じたことが「ある」

＜図－10＞ ヒップに男性の視線を感じたことが「ある」人



ヒップに男性の視線を感じたことが「ある」人は、“全体”の38.0%。“20～29歳”(53.4%)は「ある」が半数をこえるが、30代以上は3割未満である。

職業別でも、“常勤”(56.4%)と“学生”(52.9%)は、男性に見られることが多いが、家庭人、殊に“主婦専業”(20.2%)は少ないようだ。

ヒップの大きさは、“大きい方”に「ある」(43.8%)が幾分多い。

形でいえば、“標準型”(48.2%)、“出尻型”(46.2%)が高い。低いのは“扁平型”(15.0%)。

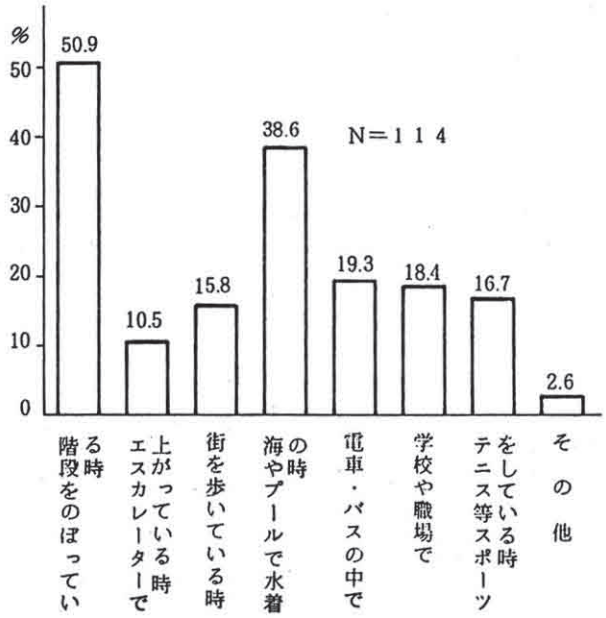
(2) 感じるのは「階段をのぼっている時」(50.9%)

男性の視線を感じるのはどんな時かというと、まず何といっても、「階段をのぼっている時」(50.9%)。次いで「海やプールで水着の時」(38.6%)。「電車・バスの中で」(19.3%)、「学校や職場で」(18.4%)日常的に……という人は2割弱、視点は階段と同じだが、「エスカレーターで上がっている時」(10.5%)は低い。

年齢別でも、いずれも「階段をのぼっている時」がトップ。若い人ほど「海やプー

ルで水着の時」が高く“２０～２９歳”は４７.６％、同年齢は「電車・バスの中で」(28.6％)も高い。“４０～４９歳”は「テニス等スポーツをしている時」(２０.0％)が目立つ。

＜図－１１＞ ヒップに男性の視線を感じる時

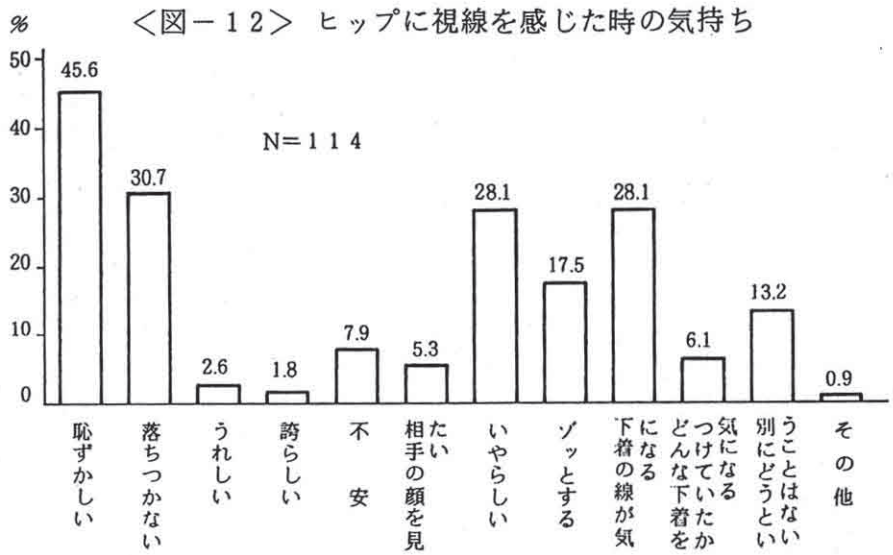


(3) 視線を感じると「恥ずかしい」(４５.６％)

ヒップに男性の視線を感じた時の気持ちは、「恥ずかしい」(４５.6％)、「落ちつかない」(３０.7％)、「いやらしい」(２８.1％)、「下着の線が気になる」(28.1％)など。「うれしい」(２.６％)、「誇らしい」(１.８％)という人は少ない。

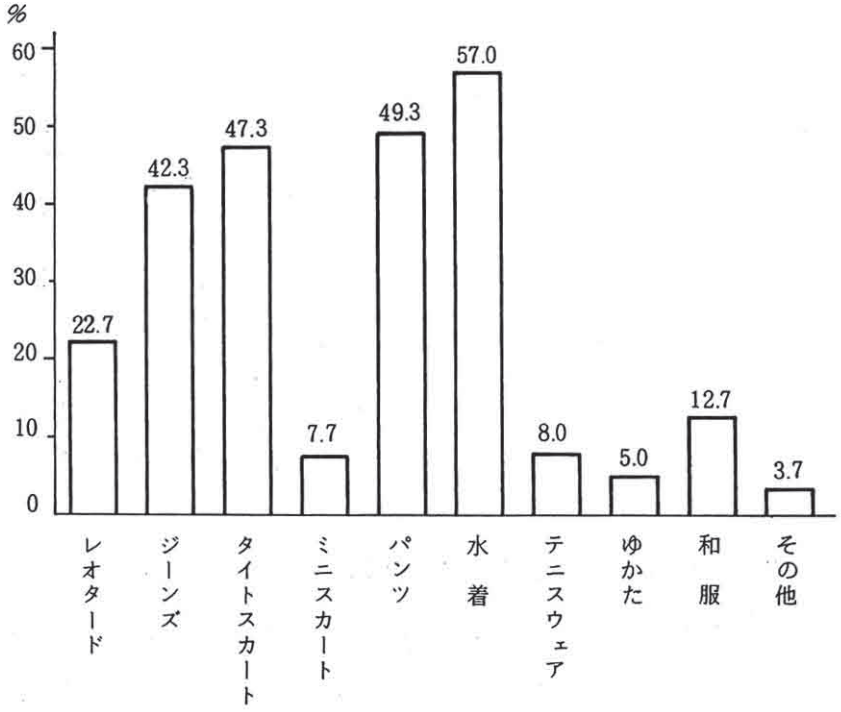
年齢別でも、いずれも「恥ずかしい」がトップだが、“４０～４９歳”(５６.0％)は特に高く、「落ちつかない」(３６.0％)も高率なのは、見られるのは自分の責任と考えがちなためだろうか。反対に“２０～２９歳”は、「いやらしい」(３６.5％)、「ゾッとする」(２２.2％)と男性の性悪説に帰する傾向がうかがえる。

＜図－１２＞ ヒップに視線を感じた時の気持ち



3. ヒップのことが気になる「水着」（57.0%）、「パンツ」（49.3%）

<図－13> ヒップのことが気になる服装



ヒップのことが気になる服装は、まず「水着」（57.0%）、そして「パンツ」（49.3%）、「タイトスカート」（47.3%）、「ジーンズ」（42.3%）が続く。反対に気にする人が少ないのは「ゆかた」（5.0%）、「ミニスカート」（7.7%）、「テニスウエア」（8.0%）、「和服」（12.7%）。短いスカートはヒップを気にすることに必ずしもつながらないようだし、着物は着ること自体が少ないのかも知れない。

年齢が若い人ほど、ほとんどの服装について高率だが、「タイトスカート」は、年齢が上になるにつれて、気になる人が増える（"40～49歳"54.5%）。逆にいうと、同年代は「水着」や「パンツ」「ジーンズ」を着ることが少ないのかも知れない。

ヒップの大きさ別に見ても、「水着」がトップであることは変わらないが、小さめになるほど、「パンツ」の率は高くなり、「タイトスカート」は低くなる。

4. 自分のヒップを強調することが「ある」のは8.0％のみ

自分のヒップを強調することが「ある」という女性は8.0％と、ごく少ない。

“20～29歳”は、それでも10.2％いるが、30歳以上は、6％台である。

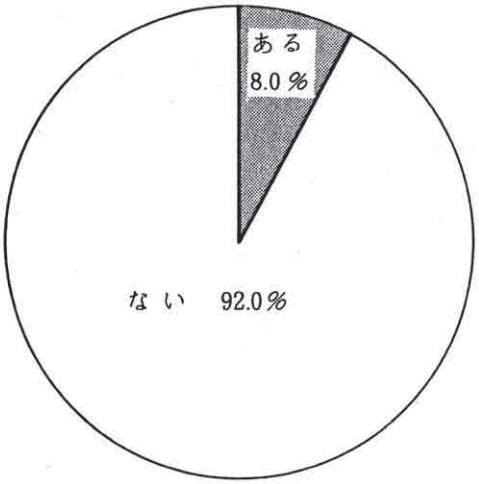
ヒップの大きさが“ふつう”だと12.1％。

形では、“アップ型”（16.7％）、“扁平型”（12.5％）、“標準型”（10.6％）に「ある」がやや多い。

対象者は、わずかだが、ヒップを強調する方法を見ると、「服装」が主で、次いで「歩き方」他に「下着」や「ポーズ」など。

「服装」を具体的にいうと、「ジーンズ」「パンツ」「タイトスカート」。これはヒップが気になる服装とも共通しており、これらはヒップがポイントの服装という認識が強い。

＜図－14＞ 自分のヒップを強調することの有無



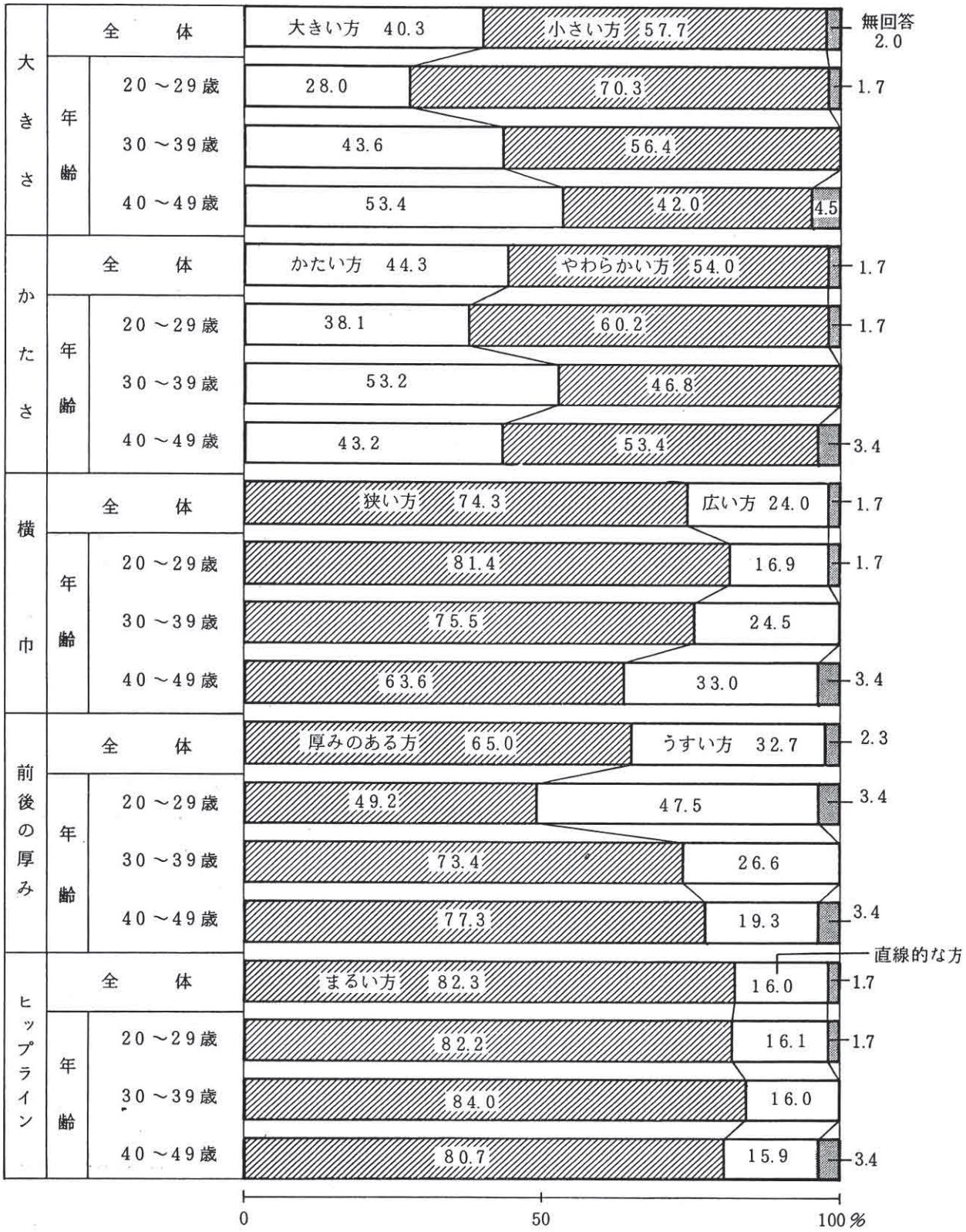
＜表－3＞ ヒップを強調する方法と服装

強調する方法 （N＝24）	
1. 服 装	17 名
2. 歩き方	7 名
3. 下 着	3 名
3. ポーズ	3 名
5. ハイヒール	1 名
「服装」の種類（N＝17）	
1 ジーンズ	6 名
1 タイトスカート	6 名
1 パンツ	6 名
4 水 着	5 名
5 テニスウェアなどスポーツウェア	4 名
6 ミニスカート	1 名

Ⅲ　ヒップの評価とケア

1　「まる」（82.3%）くて、「狭い」（74.3%）、「厚みのある」（65.0%）ヒップが好き

＜図－15＞　好きなヒップ



女性自身が好きなヒップは、大きさとしてはどちらかというと「小さい方」（57.7%）である。殊に“２０～２９歳”は「小さい方」が好きが７０.３%をしめるが、年齢とともに「大きい方」が増え、“４０～４９歳”（53.4%）では逆転して過半数をしめる。ヒップが“大きい方”の人に「小さい方」（58.4%）好みがより多い。

かたさもどちらかといえば「やわらかい方」（54.0%）好みで、“２０～２９歳”（60.2%）はよりその傾向が強い。“３０～３９歳”はむしろ「かたい方」（53.2%）を好む人が多い。職業別、ヒップの大きさ別で見ると、いずれも「やわらかい方」好みがやや多い。

横巾については“全体”の¾が「狭い方」（74.3%）と答えている。「広い方」が好きは２４.０%。年齢が若い層ほど「狭い方」好みが多く、“２０～２９歳”では８１.４%、職業別でも“学生”は８５.３%をしめる。また、ヒップの“大きい方”の人は「狭い方」好きが７７.４%いるが、“小さい方”の場合は６１.７%、４割近くが「広い方」（38.7%）と答えている。

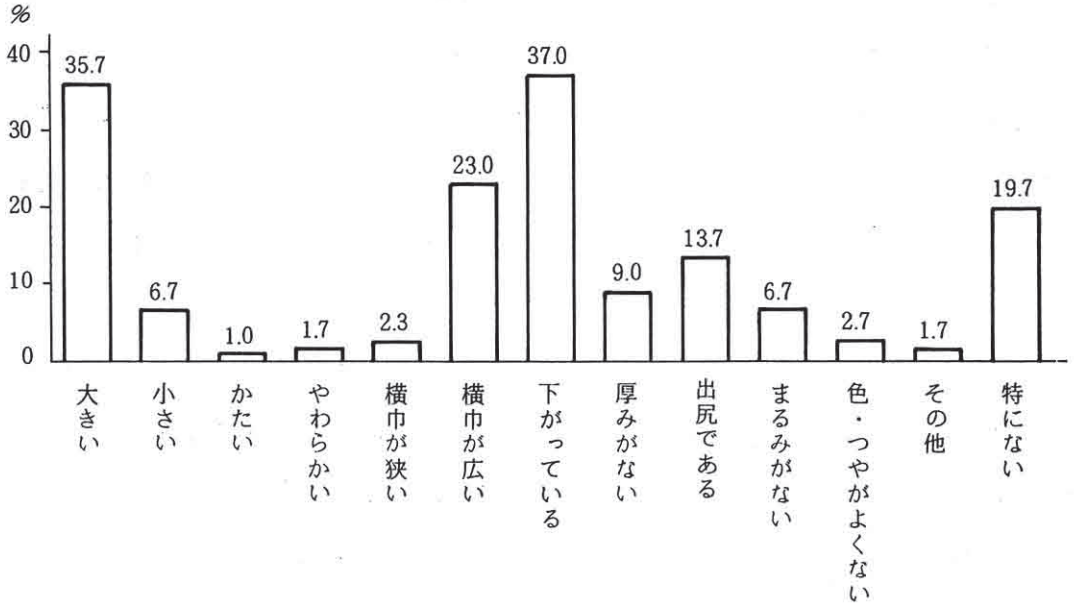
前後の厚みは「厚みのある方」が好きと６５.０%が答え、「うすい方」は３２.７%。３０歳以上は「厚みのある方」が７割以上をしめているが、“２０～２９歳”（49.2%）は「うすい方」（47.5%）とほぼ半々に分れる。職業別の“学生”のみは「うすい方」（58.8%）好みが優勢である。

ヒップラインは「まるい方」（82.3%）好みが圧倒的に多い。狭い・小さいとボーイッシュ志向が感じられるヒップだが、小じんまりとしても、やはりまるい女性らしいヒップが好みのようだ。「直線的な方」は１６.０%。年齢別、職業別に見ても、いずれも「まるい方」が８割前後をしめている。

各項目を通してみると、２０代、ことに“学生”は小さくて、やわらかい、ちょっときゃしゃな可愛いいヒップを好んでいる。年齢が上になるにつれて、大きい・厚い・広いと安定感のあるヒップを好む人が増えるが、これは先に見た＜ヒップとは……＞「母性の象徴」「健康美の象徴」と考える人が年齢とともに増えていくことと共通していよう。

2. 「下がっている」（37.0%）、「大きい」（35.7%）のが不満

＜図－16＞ ヒップについての不満



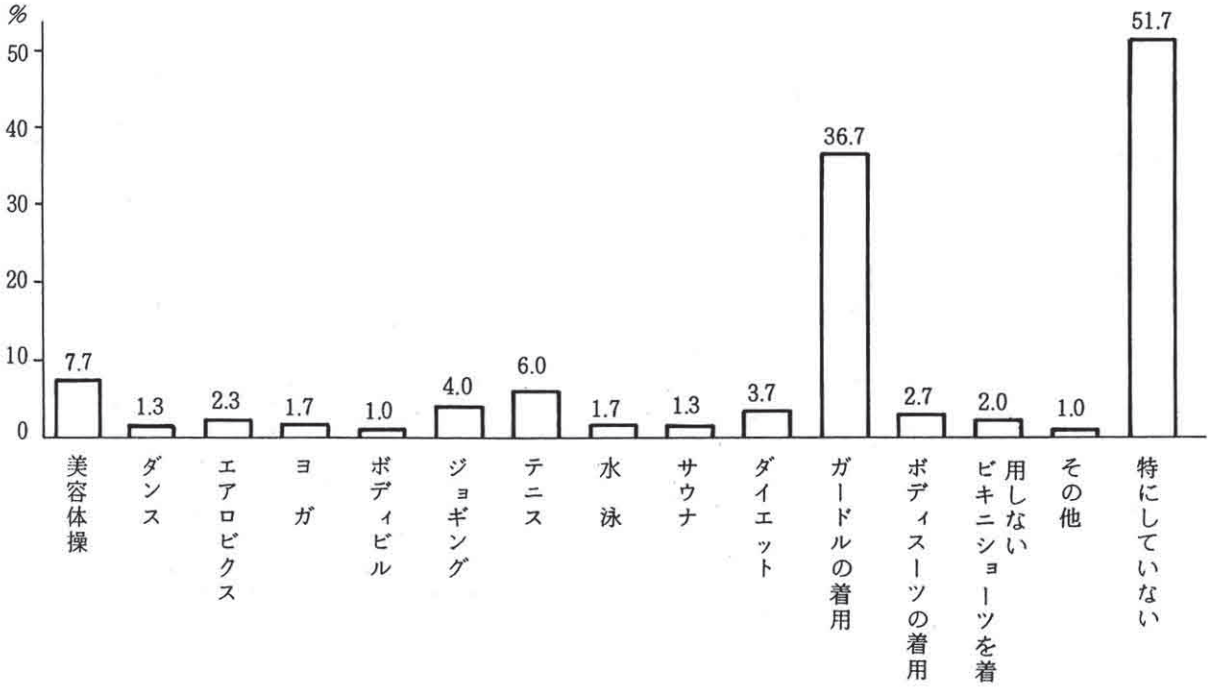
ヒップに対する不満は、まず「下がっている」（37.0%）と「大きい」（35.7%）こと。そして、「横巾が広い」（23.0%）、「出尻である」（13.7%）と、重そうに見えることに不満を持っている人が多い。「特にない」（19.7%）は5人に1人弱。

“20～29歳”は「大きい」（51.7%）、「横巾が広い」（31.4%）、「出尻である」（16.9%）がより高く、「特にない」（14.4%）人は少ない。実際のサイズは、30代以上より細いのだから、要求度が高い故の不満なのだろう。

ヒップの形別で“ダウン型”と“出尻型”は「特にない」が1割未満と少なく、より不満を持ちやすい型といえよう。

3. ヒップのためにいいことは「ガードルの着用」（36.7%）くらい

<図－１７>　ヒップのためにしていること



ヒップのためにしているいいことは「ガードルの着用」（３6.7%）が主で、他はいずれも１０%未満の「美容体操」（ 7.7%）、「テニス」（ 6.0%）、「ジョギング」（ 4.0%）、「ダイエット」（ 3.7%）など。「特にしていない」（５1.7%）人が過半数で、不満を持つ人が多い割にはヒップ自体へのケア意識は低い。

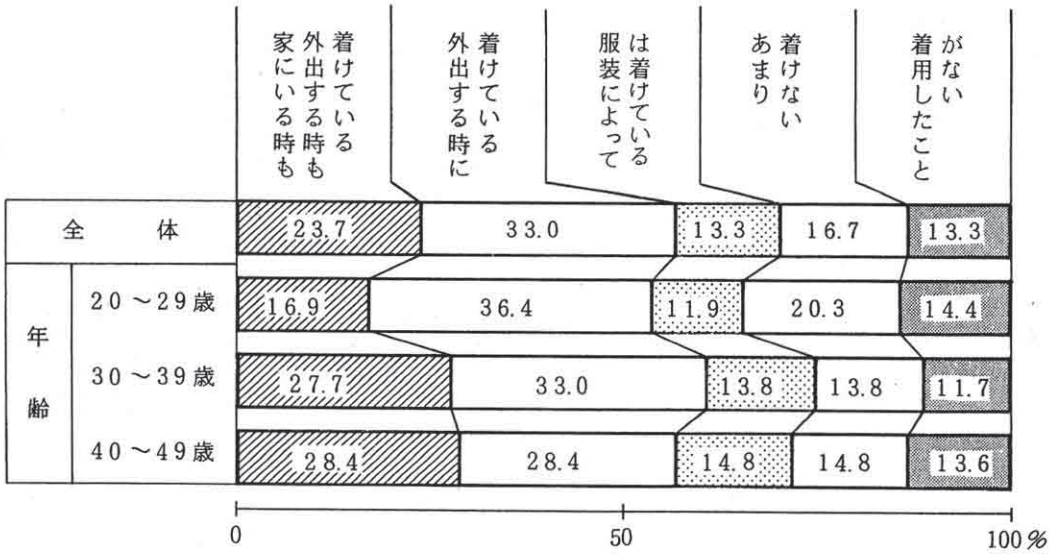
“２０～２９歳”“３０～３９歳”は「ガードルの着用」がそれぞれ３9.8%、３8.3%だが、“４０～４９歳”は３0.7%と低くなる。“２０～２９歳”は「美容体操」（10.2%）、「テニス」（ 9.3%）がやや高く、３０代以上は「ジョギング」「ダイエット」が幾分まとまって見られる。

なお、ヒップの形別で“アップ型”と“扁平型”は「特にしていない」がより多い。「ガードルの着用」に、より頼っているのは“出尻型”（４6.2%）と“ダウン型”（４0.2%）。

4. ガードルの着用

(1) 4人に1人は「家にいる時も外出する時も着けている」(23.7%)

<図－18> ガードルの着用度



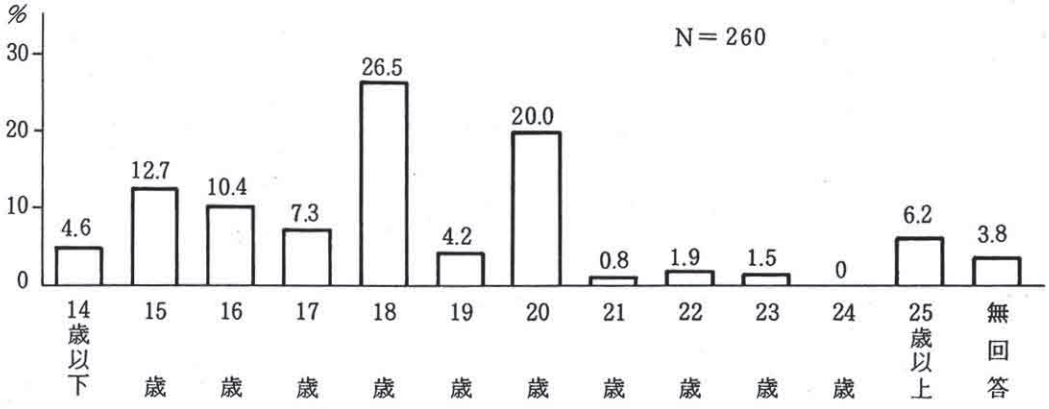
ガードルは「外出する時に着けている」(33.0%)人が3人に1人と最も多く、次いで、「家にいる時も外出する時も着けている」が23.7%、6割近くは外出時にいつもガードルを着用していることになる。「服装によっては着けている」が13.3%、「着用したことがない」人は13.3%。

"20～29歳"は「外出する時に着けている」(36.4%)がより多い。30代以上は「家にいる時も外出する時も着けている」も3割近く見られる。これは職業的な立場によるものも大きく、"パート・家業手伝い"は「家にいる時も――」が36.4%。"学生""常勤"は「外出する時に」が4割強をしめるが「あまり着けない」も2割いる。

また、ヒップの形別で、"ダウン型"は「家にいる時も――」(31.6%)が多い。"標準型"は「外出する時に」(41.2%)中心の標準タイプ、"アップ型"と"扁平型"はガードルを着用することが少ない。

(2) 着けはじめたのは平均「１８.２歳」

＜図－１９＞　ガードルを着けはじめた年齢



ガードルを着けはじめた年齢は、「１８歳」（26.5%）と「２０歳」（２0.0%）に２つのピークがあるが、すでに「１７歳」までに３５.０%がガードルを着用している。「２１歳」以降は１０.４%。

平均年齢は、“全体”が「18.2歳」だが、年代による差がかなりあり、“２０～２９歳”は「16.7歳」で、“40～49歳”（１9.4歳）と３年近い差がある。また、“学生”は「１6.0歳」と若いほど早くからガードルを着用しているようだ。

ヒップが“大きい方”（１8.1歳）の人は幾分早めだが、“小さい方”（１8.8歳）との差はあまりない。

＜表－４＞　ガードル着けはじめ平均年齢

		平均年齢
全体		１8.２歳
年齢	２０～２９歳	１6.７〃
	３０～３９歳	１9.０〃
	４０～４９歳	１9.４〃
職業	学生	１6.０〃
	常勤	１7.８〃
	パート・家業手伝い	１9.１〃
	主婦専業	１8.９〃

(3) 「おなかが気になったから」（34.6%）ガードルを着用

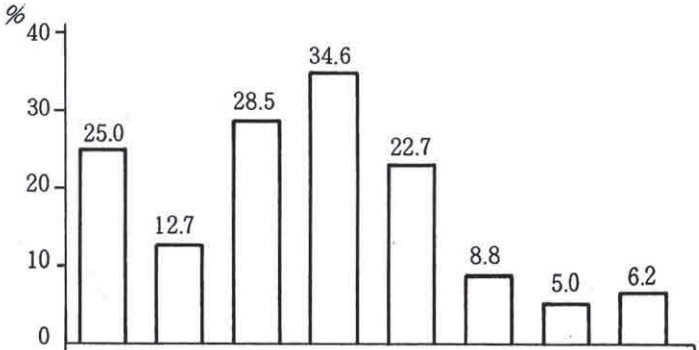
ガードルを着けるようになったきっかけは、ヒップよりも「おなかが気になったから」（３4.6%）が第一、自分では見にくいヒップより、おなかにまず促されるようだ。次いで、「ヒップの形が気になったから」（２8.5%）、そして「友だちが着けていたから」（２5.0%）、「ストッキングを固定したくて」（２2.7%）。

どの年齢層も「おなかが気になったから」がトップだが、“４０歳～４９歳”

（４2.1％）ではより高い。同年齢は「ヒップの形が気になったから」（３1.6％）、「ストッキングを固定したくて」（２8.9％）も高率。“２０～２９歳”は、「友だちが着けていたから」（３0.7％）、「母親にすすめられて」（２7.7％）も高い。特に後者は３０代以上ではあまり見られないきっかけであり、親の世代に大きな変化があることがうかがえる。

ガードルの着用年齢別に見ると、“１７歳以前”に着けはじめた人は「友だちが着けていたから」（３6.3％）が第一、「母親にすすめられて」（２5.3％）も他グループに比べて高い。“１８歳”以降は、「おなかが気になったから」が中心になり、「ヒップの形が気になったから」も高くなる。また、“１８・１９歳”の場合は「おしゃれがしてみたくなって」（１6.3％）もまとまって見られる。

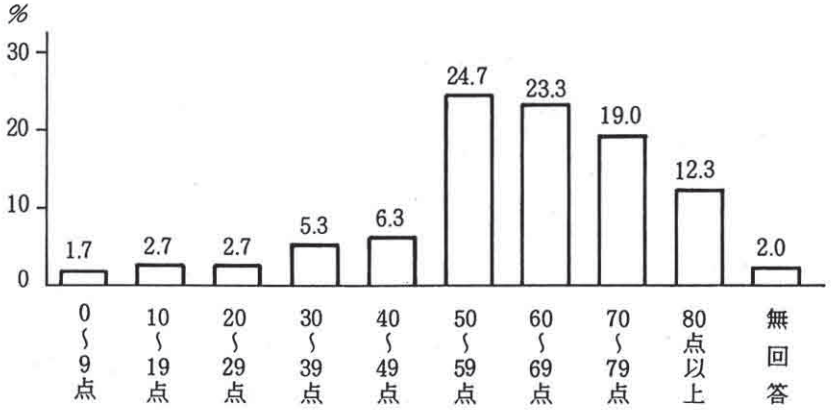
＜図－２０＞ ガードル着用のきっかけ



		友だちが着けていたから	母親にすすめられて	ヒップの形が気になったから	おなかが気になったから	ストッキングを固定したくて	おしゃれがしてみたくなって	大人の気分がしそうだから	その他
年齢	２０～２９歳	30.7	27.7	26.7	30.7	19.8	5.9	5.0	5.9
	３０～３９歳	21.7	2.4	27.7	32.5	20.5	12.0	3.6	9.6
	４０～４９歳	21.1	3.9	31.6	42.1	28.9	9.2	6.6	2.6

5. 自分のヒップを採点すると …… 平均「56.4点」

<図－21> ヒップの自己採点



自分のヒップを１００点満点で採点してもらった結果は、「５０〜５９点」の人が最も多く２４.７%、次いで「６０〜６９点」（２3.3%）。「８０点以上」は１２.３%に止まり、５０点未満が１８.７%いる。

平均点は"全体"が「５６.４点」。

若い人ほど自分のヒップに厳しく、"２０〜29歳"は「５2.5点」、"４０〜４９歳"が「６0.2点」である。

職業別では"学生"（４9.0点）が最も低く、"パート・家業手伝い"（５9.0点）が最も高い。

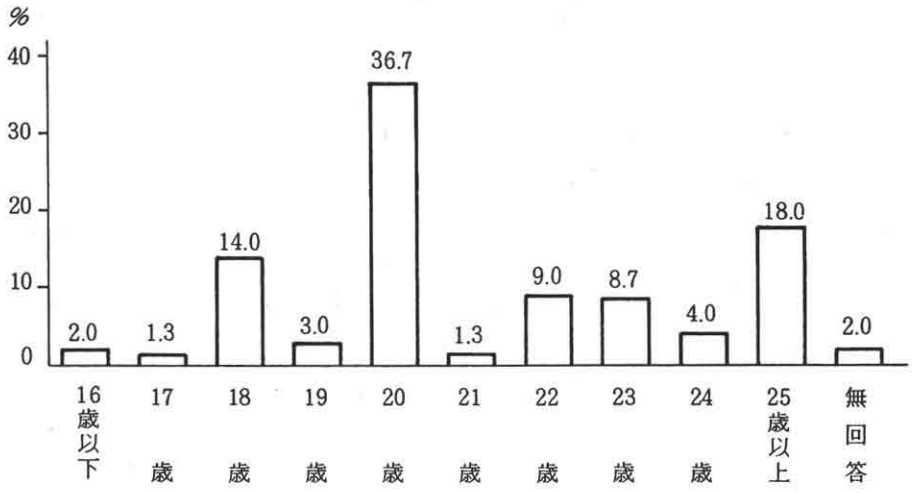
ヒップの形から見ると、高採点なのはやはり"アップ型"（６9.1点）、そして"標準型"（61.9点）。低いのは"出尻型"（４7.3点）。

<表－５> ヒップの自己採点（平均点）

		平均点
全体		５６.４点
年令	２０〜２９歳	５２.５〃
	３０〜３９歳	５７.８〃
	４０〜４９歳	６０.２〃
ヒップの形	扁平型	５８.７〃
	ダウン型	５３.３〃
	標準型	６１.９〃
	アップ型	６９.１〃
	出尻型	４７.３〃

6. 女性のヒップが一番美しい「21.4歳」

<図－22> 女性のヒップが一番美しい年齢



<表－6> 女性のヒップが一番美しい平均年齢

		平均年令
全体		21.4歳
年齢	20～29歳	20.6〃
	30～39歳	21.4〃
	40～49歳	22.5〃

女性のヒップが一番美しいと思う年齢は「20歳」（36.7%）くらいと思っている人が多い。次いで「18歳」（14.0%）。しかし「25歳以上」という回答も18.0%ある。平均は「21.4歳」。これは<バスト>の美しい年齢、21.7歳（59年3月ワコール調べ）とほぼ同じである。

“20～29歳”（20.6歳）はより若くと考えているが、“40～49歳”は「22.5歳」と幾分遅くなる。

職業別で“学生”は平均「20.0歳」だが、他はいずれも21歳台である。

7. 魅力的なヒップ ――「浅野ゆう子」「松坂慶子」「由美かおる」

魅力的なヒップをしていると思う女性（日本人）を自由にあげてもらった結果、ベスト１０は表７の通りで、上位「浅野ゆう子」「松坂慶子」「由美かおる」は順位こそ違っても４年前の調査（８１年ワコール調べ）と変わらない。この３人のヒップの印象は強烈らしい。むろんベスト１０の中には、「石川秀美」「小泉今日子」「早見優」の新顔も見られ、２０代の若い層などは、こうした可愛いヒップが、美的判断の基準にもなっているようである。

＜表－７＞　魅力的なヒップの女性ベスト10

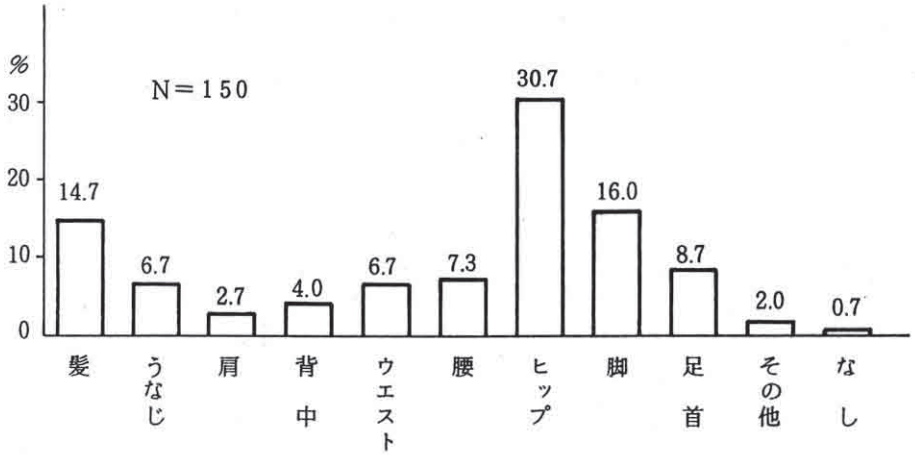
		20代	30代	40代	全体
1	浅野ゆう子	13	9	5	27
2	松坂慶子	9	8	3	20
2	由美かおる	4	12	4	20
4	小柳ルミ子	5	5	8	18
5	ＭＩＥ	3	3	5	11
6	石川秀美	7	1	1	9
7	木ノ実ナナ	2	1	4	7
8	前田美波里	1	3	2	6
9	小泉今日子	5	0	0	5
9	早見優	5	0	0	5

（数字は人数）

調査結果の内容【男性編】

1. 女性の後姿で一番気になる「ヒップ」（30.7%）

<図－1> 女性の後姿で一番気になるところ



男性が女性の後姿を見る時、視線の行くところ、一番気になる部分として「ヒップ」（30.7%）が最も高率である。以下「脚」（16.0%）、「髪」（14.7%）、「足首」（8.7%）の順。視線はヒップから次第に下へ、それから頭というところだろうか。

年齢別に見ると、トップはいずれも「ヒップ」だが、"20～29歳"（23.0%）はやや低く、「髪」（21.3%）が少差で続く。"30～39歳"は「ヒップ」（44.2%）に集中し、"40～49歳"は「ヒップ」（28.3%）に続いて「うなじ」（15.2%）が高い

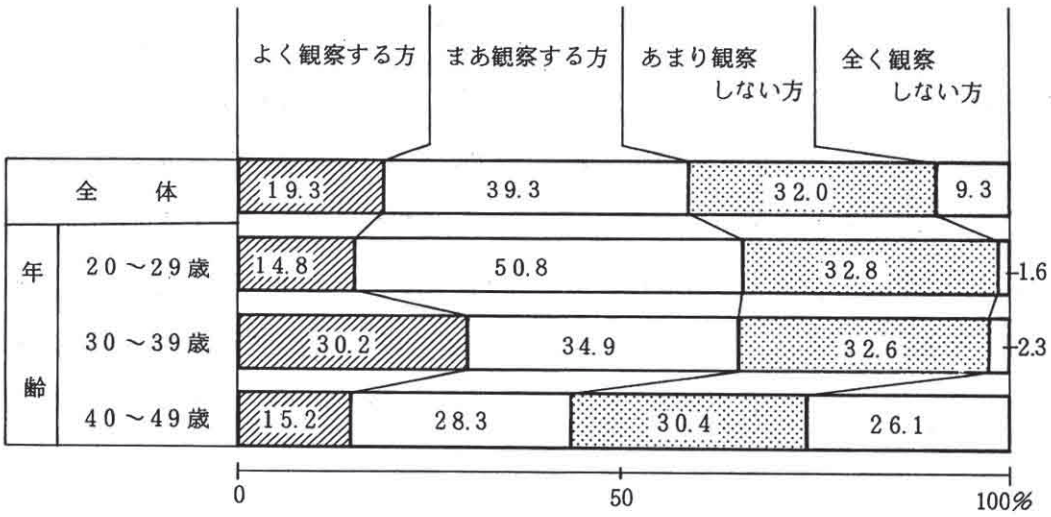
2. ヒップの観察

(1) 6割近くはヒップを「よく」(19.3%)、「まあ」(39.3%)観察

女性のヒップを「よく観察する方」という男性は19.3%、「まあ観察する方」が39.3%で、両者を合わせると6割近い。「あまり観察しない方」という人も32.0%いるが、「全く観察しない方」は9.3%のみ。

年齢別で"30～39歳"は「よく観察する方」が30.2%と多く、"40～49歳"になると「全く観察しない方」(26.1%)が増える。

<図－2> 女性のヒップの観察度

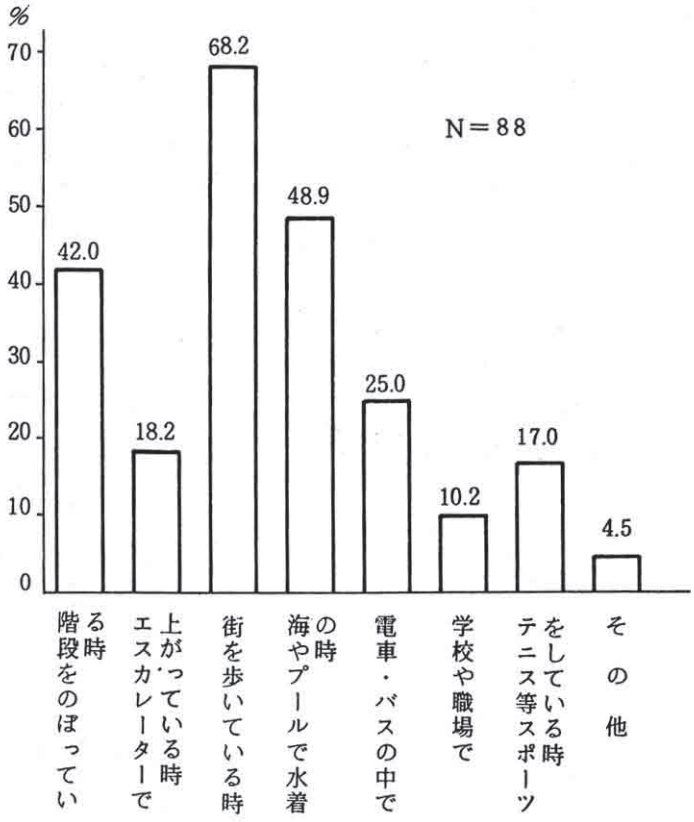


未既婚別では、"既婚"の方に「よく観察する方」(23.6%)が多い("未婚"は13.1%)。

(2) 観察は「街を歩いている時」(68.2%)に

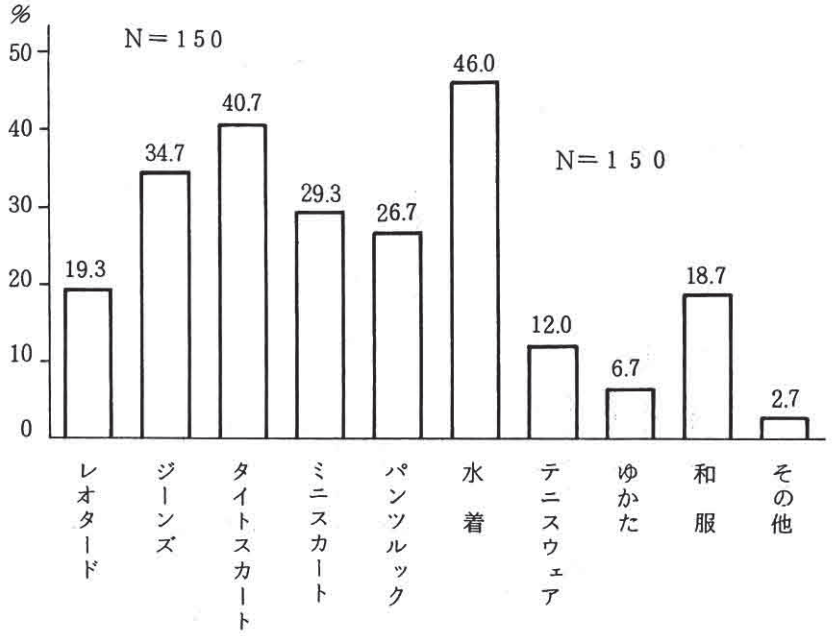
女性のヒップを「よく・まあ観察する方」の人が、ヒップ・ウォッチングをするのは第一に「街を歩いている時」(68.2%)、そして「海やプールで水着の時」(48.9%)、「階段をのぼっている時」(42.0%)。また、「電車・バスの中で」(25.0%)と、混んでいても観察意欲はおとろえないようだ。「学校や職場で」(10.2%)が低いのは、神聖な場故か、観察していることを知られることの恐れ故でもあろうか。

＜図－３＞　観察する時・場所


%
70
60
50
40
30
20
10
0
42.0
18.2
68.2
48.9
25.0
10.2
17.0
4.5
N＝88
階段をのぼっている時
エスカレーターで上がっている時
街を歩いている時
海やプールで水着の時
電車・バスの中で
学校や職場で
テニス等スポーツをしている時
その他

3. ヒップが気になる「水着」（46.0%）姿

＜図－４＞　ヒップが気になる服装

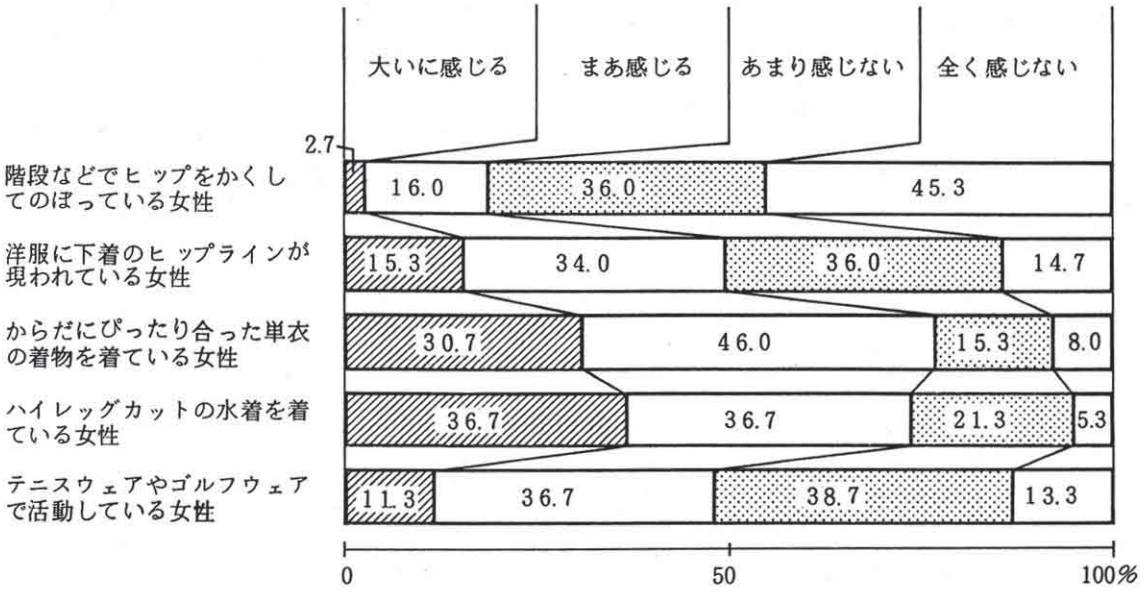


女性のヒップが気になる服装は、第一に「水着」（46.0%）、そして「タイトスカート」（40.7%）、「ジーンズ」（34.7%）、「ミニスカート」（29.3%）、「パンツルック」（26.7%）と続く。

年齢別で見ても、いずれも「水着」がトップだが、"20～29歳"は「ミニスカート」「ジーンズ」（ともに41.0%）とほとんど差がない。30代・40代は「タイトスカート」が高め。"40～49歳"になると「ジーンズ」（15.2%）、「ミニスカート」（10.9%）、「パンツルック」（15.2%）などは下がって、「和服」（26.1%）が上がってくる。

4. ＜からだにぴったり合った単衣の着物＞
＜ハイレッグカットの水着＞の女性に感じるセックスアピール

＜図－５＞　状況によるセックスアピール度



ヒップをめぐる女性の状況別に男性がセックスアピールを感じる度合いを見ると、まず、

a．階段などでヒップをかくしてのぼっている女性

これを見てセックスアピールを「大いに感じる」人は2.7％のみ、「まあ感じる」（16.0％）を加えても感じる人は2割に満たない。「全く感じない」が45.3％。

“20～29歳”には「大いに感じる」（4.9％）、「まあ感じる」（24.6％）人が少なからずいるが、“30～39歳”は両者合わせてもわずか4.6％。

b．洋服に下着のヒップラインが現われている女性

こちらは「大いに感じる」が15.3％、「まあ感じる」（34.0％）と合わせ、ほぼ半数がセックスアピールを感じている。「全く感じない」は14.7％。

やはり若い方が感じやすく、“20～29歳”は「大いに感じる」が21.3％、「まあ感じる」39.3％。“30～39歳”で「大いに感じる」人は7.0％である。

c．からだにぴったり合った単衣の着物を着ている女性

ここでは、「大いに感じる」が30.7％。「まあ感じる」46.0％で、合わせて4人中3人はセックスアピールを感じている。「全く感じない」は8.0％のみ。

“３０～３９歳”世代へのアピール度がより高く、「大いに感じる」は３９.５％、「まあ感じる」４６.５％。

d．ハイレッグカットの水着を着ている女性

こちらも、「大いに感じる」（３６.７％）男性が多く、「まあ感じる」（３６.７％）を合わせて¾近い。「全く感じない」は５.３％とごく少数。

２０代・３０代では「大いに・まあ感じる」が８割前後をしめ、「全く感じない」人は皆無。“４０～４９歳”のみ「全く感じない」（１７.４％）が見られる。

e．テニスウェアやゴルフウェアで活動している女性

スカートが短いとはいっても、スポーツウェアの場合は、「大いに感じる」が１１.３％に止まり、「まあ感じる」（３６.７％）を合わせても半数に満たない。とはいえ「全く感じない」（１３.３％）という人が多い訳でもない。

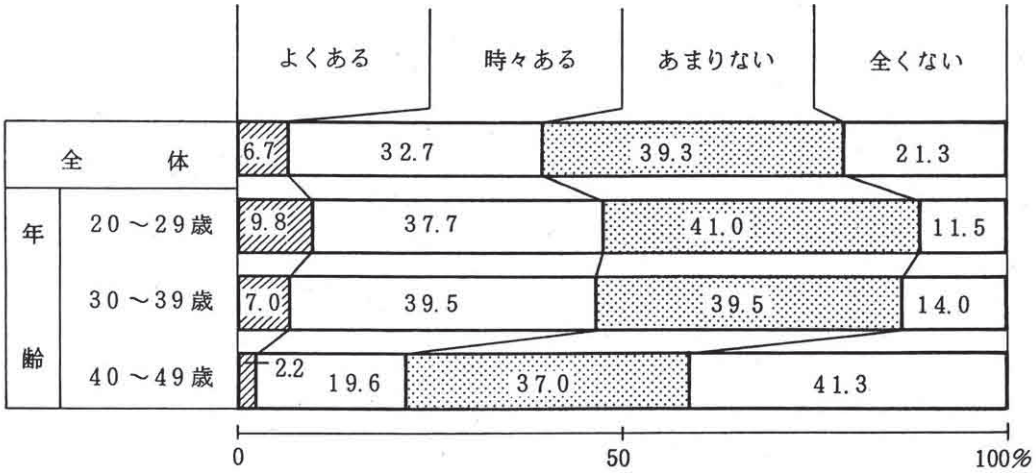
“２０～２９歳”は「大いに感じる」（１４.８％）、「まあ感じる」（４２.６％）人が多いが、日頃一諸にプレーしたり、目にする機会がある為でもあろう。“４０～４９歳”になると「大いに・まあ感じる」（合わせて３２.６％）人は少なくなる。

５つのケースについて見てみたが、まとめると、セックスアピールを感じる人が多いのは、＜からだにぴったり合った単衣の着物＞、＜ハイレッグカットの水着＞の女性であり、日本的色気、西洋的肉体美と、セックスアピールの感じ方も和洋両面志向である。ブリッ子的しぐさやスポーツはあまりセックスアピールとは結びつかないようだ。

5. ヒップについての話題

(1) 4割の男性が「よく」「時々」ヒップを話題に

＜図－6＞ ヒップについて話題にする度合い



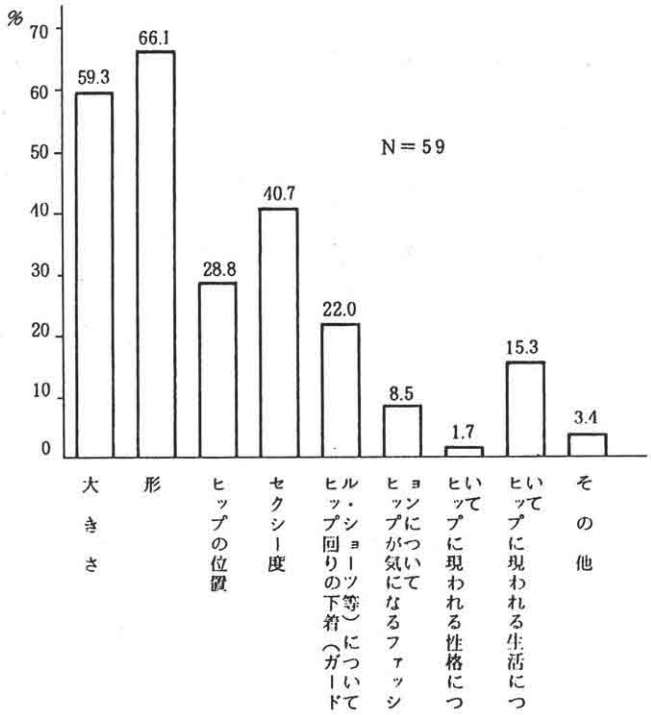
知人や友人などとまわりの女性のヒップについて話題にすることが「よくある」（6.7％）男性はあまり多くないが、「時々ある」（32.7％）を合わせると4割になる。「あまりない」は39.3％、「全くない」が21.3％。

20代・30代は、「よく・時々ある」人が半数近いが、"40～49歳"ではぐっと少なくなり「よく」（2.2％）、「時々ある」（19.6％）合わせて2割程度。

(2) 話題は「形」（66.1％）、「大きさ」（59.3％）

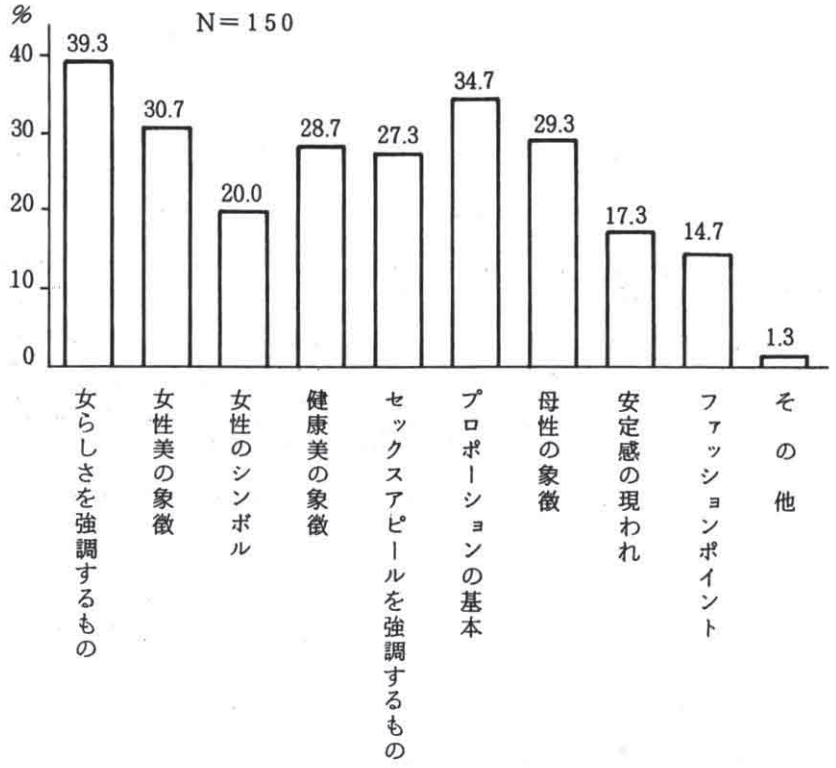
「よく・時々」話題にしている人のその内容は、「形」（66.1％）についてが第一、次いで「大きさ」（59.3％）。まず形態で、それから「セクシー度」（40.7％）がのぼる。「ヒップに現われる性格について」（1.7％）まで考察する人はごくまれ。

＜図－7＞ ヒップについて話題にすること



6. 女性のヒップとは「女らしさを強調するもの」（39.3%）

＜図－8＞　女性のヒップとは



女性のヒップとは何か。男性にとってはまず「女らしさを強調するもの」（39.3%）、そして「プロポーションの基本」（34.7%）。以下「女性美の象徴」（30.7%）、「母性の象徴」（29.3%）、「健康美の象徴」（28.7%）、「セックスアピールを強調するもの」（27.3%）が並ぶ。ヒップのイメージは分散気味だが、まず見るものという意識が先に立つようだ。

年齢別でもいずれも「女らしさを強調するもの」がトップで“30～39歳”（44.2%）は特に高い。同年代は他項目についても高率で、30代にとって、ヒップは女性そのものという感がある。

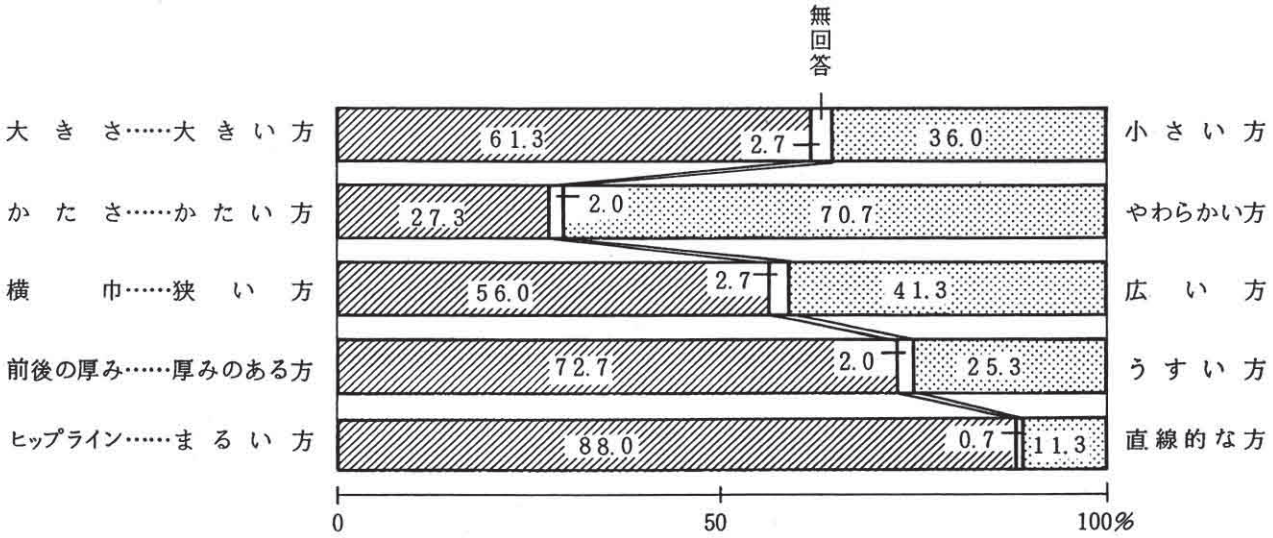
7. まるくて、厚みがあって、やわらかい、大きいヒップが好き

好きなヒップは、大きさからいえば「大きい方」（61.3%）。年齢別に見てもあまり変わらないが、“30～39歳”は「小さい方」（41.9%）好みも少なくない。

かたさは「やわらかい方」（70.7%）好みが7割をこえる。殊に“20～29歳”は「やわらかい方」（75.4%）が好き。

横巾はどちらかといえば「狭い方」（56.0%）、「広い方」好みは41.3%だが、“30～39歳”は五分五分（どちらも48.8%）。

＜図－9＞　好きなヒップ



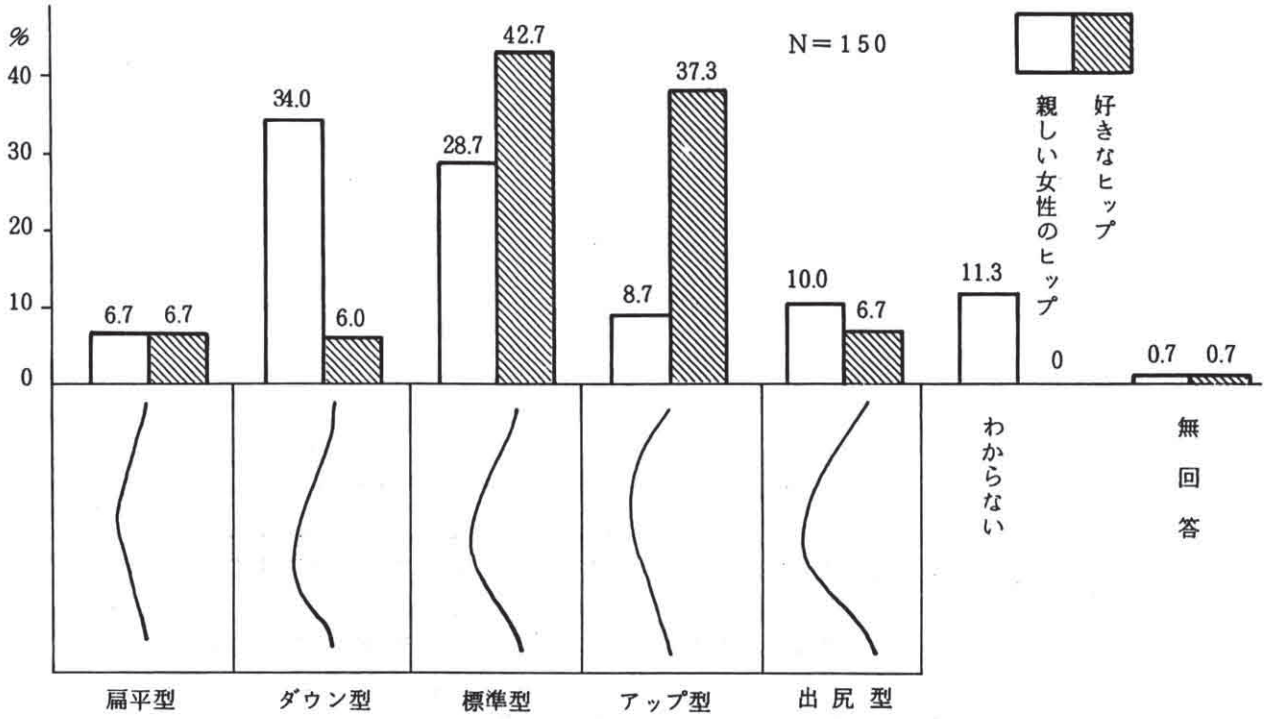
前後の厚みは、やはり「厚みのある方」（72.7%）が好き。「うすい方」は25.3%だが、“30～39歳”（32.6%）のみは3割をこえる。

ヒップラインは圧倒的に「まるい方」（88.0%）が支持されており、「直線的な方」を好む人は11.3%にすぎない。“30～39歳”は「まるい方」（93.0%）により集中している。

全体を通してみると、まるくて、厚みがあって、やわらかい、ヒップということになる。30代にはやや混乱が見られるが、好みが複雑というべきか。

8. ヒップの形

＜図－１０＞　親しい女性のヒップ・好きなヒップの形



(1)　親しい女性に多い「ダウン型」（34.0％）

対象者の一番親しい女性（妻や恋人）のヒップの形を5種類のイラスト（呼称なし）から選んでもらった。一番多いのは「ダウン型」（３４.0％）で、「標準型」（28.7％）がそれに続く。他のタイプをあげた人はそれぞれ１割以下で、「わからない」が１１.３％。

“２０～２９歳”は「標準型」（４５.9％）が第一だが、年齢とともにその率は下がり、“４０～４９歳”では13.0％。代わりに「ダウン型」（４３.5％）、「出尻型」（１７.4％）、「扁平型」（１０.9％）が増える。“２０～２９歳”では「わからない」も１８.０％。

(2)　本当は「標準型」（42.7％）、「アップ型」（37.3％）が好き

好きなヒップの方は、やはり「標準型」（４２.7％）、「アップ型」（３７.3％）に集中している。

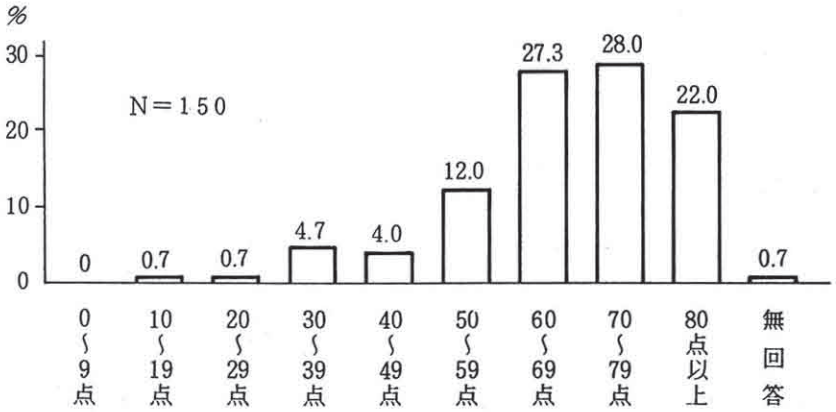
“２０～２９歳”は「標準型」と「アップ型」が同率（４１.0％）。“４０～４９歳”は「アップ型」（２８.3％）が低くなり、「出尻型」（１３.0％）、「扁平型」

（１０.９％）と好みが広がる。

なお、親しい女性のヒップと自分の好みが一致している人は〝全体〟の２７.３％。「標準型」で一致が１３.３％、「アップ型」は６.７％のみ。

9. 日本女性のヒップは平均「64.5点」

＜図－１１＞　日本女性のヒップ採点



＜表－１＞　日本女性のヒップ・平均点

		平均点
全体		６４.５点
年齢	２０〜２９歳	６４.１〃
	３０〜３９歳	６２.５〃
	４０〜４９歳	６６.８〃
未既婚	未婚	６３.８〃
	既婚	６５.０〃

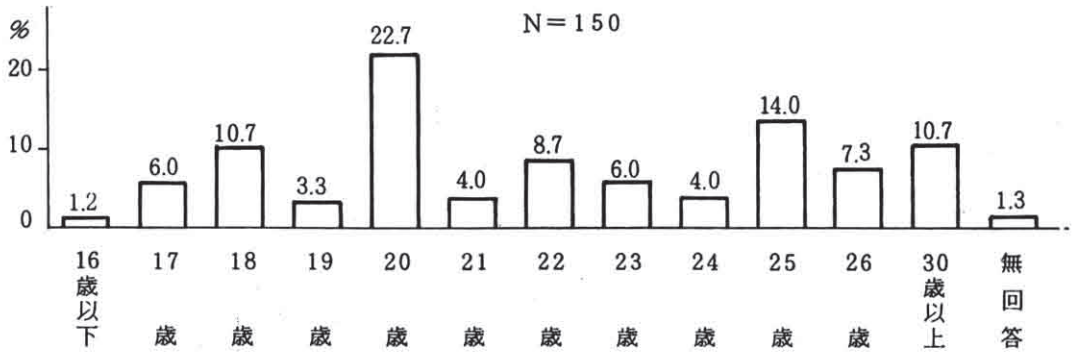
日本女性のヒップを１００点満点で採点してもらった結果は、「７０〜７９点」（２８.０％）、「６０〜６９点」（２７.３％）が中心で、ほぼ及第点といえよう。「８０点以上」も２２.０％、５０点未満は１０.１％。

平均点は〝全体〟が「６４.５点」。〝３０〜３９歳〟はちよっと辛く「６２.５点」。未既婚別では〝既婚〟（６５.０点）の方が若干甘い。

親しい女性のヒップの形とはあまり関係ないらしく、〝ダウン型〟が一番高く「66.4点」。

1Q 「22.6歳」がヒップの一番美しい年齢

＜図－１２＞　女性のヒップが一番美しい年齢



＜表－２＞　ヒップが一番美しい平均年齢

		平均年齢
全　　体		２２.６歳
年齢	２０～２９歳	２１.６〃
	３０～３９歳	２１.６〃
	４０～４９歳	２４.７〃

男性から見て、女性のヒップが一番美しい年齢は、「２０歳」（２２.７％）、「２５歳」（１４.０％）と切りのいい年齢が中心。「１８歳」（１０.７％）や「２２歳」（８.７％）もまとまって見られ、「３０歳以上」が１０.７％とかなり巾が広い。

平均は「２２.６歳」。２０代・３０代の平均は同じだが、“４０～４９歳”はちよっと遅めで「２４.７歳」。

“未婚”は平均「２１.１歳」、“既婚”が「２３.６歳」。

11. 熟年女優のヒップが魅力的

＜表－３＞　魅力的なヒップの女性ベスト10

1.	由美かおる	１１名
2.	浅野ゆう子	１０〃
2.	松坂慶子	１０〃
4.	石川秀美	６〃
5.	ＭＩＥ	５〃
6.	小柳ルミ子	４〃
7.	早見優	３〃
7.	吉永小百合	３〃
7.	十朱幸代	３〃
7.	倍賞美津子	３〃
7.	前田美波理	３〃
7.	大原麗子	３〃

魅力的なヒップの女性のベスト３は、「由美かおる」「浅野ゆう子」「松坂慶子」。

ベスト１０には若手のアイドルも登場しているが、「十朱幸代」「倍賞美津子」など熟年、中堅女優勢がむしろ多い。

最もヒップの美しい年齢が２２.６歳とはいっても、人間的魅力やからだ全体のバランスとのかかわりから見ると、魅力的であるにはそれなりの年期が必要なようだ。